

<2025年度>

第4回理事会議案書

2025年 7月 22日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

2025年度 第4回理事会 議事次第

一般社団法人 全国 鐵 構 工 業 協 会

場 所： 全構協 第一会議室

日 時： 2025 年 7 月 22 日（火）
14：00～17：00

1. 開会の辞

2. 定足数確認報告（定款第36条）

3. 会長挨拶

4. 前回理事会議事録の確認

5. 報告事項

(1) 鉄建協との要望活動（共同陳情）について ----- [理 25-4-報 1] (p3)

(2) 委員会等活動状況報告

① 運営委員会 ----- [理 25-4-報 2①] (p4-)

② 人づくり研修 2025 ----- [理 25-4-報 2②] (別冊)

③ 技術委員会 ----- [理 25-4-報 2③] (p14-)

④ 外部団体との意見交換会対応 WG ----- [理 25-4-報 2④] (p16-)

(3) 工場認定条件（品質管理体制）の保持状況確認について ---- [理 25-4-報 3] (p18-)

(4) 賛助会員との懇談会開催について ----- [理 25-4-報 4] (別冊)

(5) 鉄骨技術に関わる助成制度の募集等について ----- [理 25-4-報 5] (p23-)

(6) 特定技能外国人材関連情報について ----- [理 25-4-報 6] (p26-)

(7) その他 ① エレスラ関連の委員会参加要請について----- [理 25-4-報 7①] (p31-)

② 全鉄評関連情報 ----- [理 25-4-報 7②] (別紙)

③ その他

6. その他の定例報告事項

(1) 構成員登録状況 ----- [理 25-4-他 1] (p34-)

(2) 着工面積と推計鉄骨需要量 ----- [理 25-4-他 2] (p39)

(3) 2025 年度主要会議日程 ----- [理 25-4-他 3] (p40)

(4) 支部報告 ----- [理 25-4-他 4] (p41-)

7. 閉会の辞

以上

報 告 事 項

2025(令和7)年度 要望/意見交換会 日程

2025.7.11 全構協総務部

日	時	訪問先	住所
7/16	水 13:00	(株)日建設	千代田区飯田橋2-18-3
7/17	木 14:00	大成建設(株)	新宿区西新宿1-25-1
7/22	火 15:00	日本製鉄(株)	千代田区丸の内2-6-1
7/23	水 10:00	戸田建設(株)	東京都中央区京橋1-7-1
7/24	木 10:00	西松建設(株)	港区虎ノ門2-2-1
7/24	木 15:00	東急建設(株)	渋谷区渋谷1-16-14
7/25	金 13:00	(株)日本設計	港区虎ノ門1-23-1
7/28	月 16:30	前田建設工業(株)	千代田区富士見2-10-2
7/29	火 13:00	JFEスチール(株)	千代田区内幸町2-2-3
7/29	火 15:00	(株)三菱地所設計	千代田区丸の内2-5-1
7/30	水 10:00	(株)竹中工務店東京本店	江東区新砂1-1-1
7/30	水 13:00	(株)神戸製鋼所	品川区北品川5-9-12
7/30	水 15:00	(株)NTTアシティーズ	港区芝浦3-4-1
7/31	木 9:00	清水建設(株)	中央区京橋二丁目16-1
8/01	金 10:30	(株)大林組本社	港区港南2-15-2
8/01	金 13:00	(株)久米設計	江東区潮見2-1-22
8/06	水 15:30	日本建築構造技術者協会	千代田区三番町24
8/08	金 13:30	鹿島建設(株)	港区赤坂6-5-11赤坂別館

運営委員会

委員会 妹尾委員長・猪股副委員長・松枝副委員長
高田・松田・川上・松尾・倭島・渡辺・原田各委員
全構協 山田・平井・大原・滝本・木村

1. 報告事項

1) 2025 年度業界動向調査

- ・設問確認(最終) **別冊**
- ・スケジュール 調査期間／7 月 24 日～8 月 22 日
調査報告(速報値)／9 月 16 日(理事会)
- ・見積条件特記事項の使用状況確認(鉄骨製作図問題)アンケートを設問に追加
- ・「従業員数」「女性従業員の担当業務」「見積条件書特記事項の使用有無」は必須回答
- ・例年(過去 2 年)調査期間中、各県毎に回答状況(回答一覧／Excel)を定期的に共有
今回は共有する内容(データ)は構成員情報のみとする(回答内容は削除した形で送付)

2) 各分科会(進捗状況報告)

分科会 1(快適職場認定制度[仮称])

- ・今年度はチェックリストの完成・構成員個社の自己採点までとする内容で進める
- ・チェックリスト再度見直し中
- ・名称(再検討／FAB→誰もが認知できる名称に)についても、各自で再提案してもらう
- ・次回委員会(7 月 30 日)で報告 → 三役・理事に報告する予定

分科会 2(保険)

運営委員(全員で)生命共済、損害保険について勉強中

【案】各支部で生命共済、損害保険の「啓発活動」を実施すべき



上申

“今年度実施(予定)の支部共済推進会議(の場)で

生命共済、損害保険の勉強会を実施したい”

- ・勉強会の講師(啓発役)は全構協運営委員が担う
- ・支部共済推進会議を(今年度は)生命共済、損害保険勉強会に変更してもらう
もしくは共済推進会議の議事に加えてもらう(但し時間的に無理がある)
→選択は各支部に委ねる
- ・現在全支部で共済推進会議は開催されていないが、全支部が開催する前提での上申
- ・(理事会で承認された後)各支部事務局に開催(依頼)を(8 月上旬頃)発信予定

報告

今期 生命共済配当金について

- ・ 加入率 35% (回復) が最終的 (昨年 5 月末) に未達 配当率 95% → 86% へ変更
- ・ 今夏 (加入事業者・全構協へは 7 月末、各県組合へは 10 月) の配当金から反映
配当金総額 (今期) 76,823,567 円 → 死差損益の 86%

※ (昨年までの) 配当率 95% であった場合 / 84,863,246 円 (▲8,039,679 円)

[内訳 (予定)]

↓ 配当率 95% であった場合

加入事業者分合計	(約) 69,000,000 円	[76,000,000 円 / ▲7,000,000 円]
全構協分	(約) 3,800,000 円	[4,200,000 円 / ▲400,000 円]
各県組合分合計	(約) 3,800,000 円	[4,200,000 円 / ▲400,000 円]

分科会 3 (指定塗料、鋸刃他)

大日本塗料と今後の (改善) 活動について協議

アマダマシナリーとは業界需要の変化を踏まえた共済事業の方向性について協議

指定塗料 (大日本塗料)

- ・ 北陸エリア (先行) で販売実態調査を (大日本塗料が) 実施
- ・ 指定販売店以外から購入 (実績カウントしていない) 分を今後反映させる
- ・ 購入リスト (事業者) の確認も同時進行で行う (構成員 / 非構成員、組合員 / 非組合員)
- ・ 北陸以外のエリアも調査開始、対策も進める
- ・ (上記の取組みで) 流通、販売に関する課題の幾分かは解消できると判断
全国での取組み結果 (改善・解消) をもって、ゴールとする

鋸刃 (アマダマシナリー)

- ・ 共済指定商品を追加したい (予定)
- ・ (引続き) 他社機材にも対応できることを得意先に周知させる活動を行う
- ・ 各エリアでの取組み状況について、次回運営委員会 (7 月 30 日) までに報告をもらう

オートリース

- ・ (仮定) 共済事業を中止した場合の対応について [住友三井オートサービスに確認]
- ・ 継続利用している事業者とは個別の契約に切り替わる
- ・ 新規契約で発生する「紹介手数料」の還付がなくなる
- ・ 組合に影響はある一方、事業者 (構成員) への影響はない
- ・ 事業を中止しても影響はない判断できるが 「事業継続」でも問題ないのではないか

調査開始／7月24日～

※赤字／新設問

2025年7月24日

一般社団法人 全国鐵構工業協会

運営委員会

2025年度 業界動向調査

企業担当者様へのお願い

- ※ 本調査は、私たち鉄骨加工業界の動向、ならびに取り巻く環境について把握することを目的としております。
- ※ 本調査の回答内容は秘密を厳守し、他の目的に使用することは致しませんので、ありのままの状況をご回答ください。
- ※ 2025年8月22日(金)までに、下記用紙もしくはメール添付のURL(Microsoft フォーム)へ回答願います

問い合わせ [事務関係] ○○○○組合 TEL:○○○○
[内容について] (一社)全国鐵構工業協会事務局 TEL:03-3667-6501
総務部／滝本

従業員数について、女性従業員の担当業務について(設問 1)、見積条件書特記事項の使用について(設問 27)は必須回答をお願いします。

所属組合名、社名、グレード等を回答ください

※該当するグレードにチェック(✓)を入れてください

所属組合名	注)事業所所在地(都道府県)ではありません				
貴社名			ご担当者名		
グレード	☐ S	☐ H	☐ M	☐ R	☐ J ☐ 未認定

従業員数について回答ください ※必須回答

- ・従業員数として数える雇用区分は、正社員・再雇用です
- ・障がい者(従業員数)はパートタイマーも含めてください
- ・外国人材(従業員数)は契約社員も含めてください
- ・出産、育児等で一時的にパートタイマー契約になっている方は従業員数に含めてください
- ・労働時間/週 20 時間未満は、0.5 人で計算してください
- ・該当する従業員が居ない(ゼロ)場合は、0 と回答してください

	男性	女性
従業員数(全社で)	名	名
60 歳以上	名	名
管理職に就いている人数	名	名
障がい者	名	名
外国人技能実習生	名	名
高度外国人材(契約社員含む)	名	名
特定技能外国人(契約社員含む)	名	名
上記以外での外国人雇用(契約社員含む)	名	名

女性従業員の担当業務について回答ください ※必須回答

設問 1. 女性従業員が担当している業務について伺います

担当業務の内訳を記入してください

職責上兼務されている場合は、主たる業務を1つ選択し、回答ください

※女性従業員の人数を回答ください

①	一般事務関係	名
②	営業関係	名
③	設計、図面、積算担当	名
④	製造管理、検査関係(施工管理)	名
⑤	工場作業者	名
⑥	その他職種	名

貴社の業績、決算状況について回答ください

設問 2. 昨年度(2024 年度)の建築鉄骨「総完成売上トン数」をお答えください

2-(1) ※外注、下請けに出しているものも含めます

※橋梁、橋梁耐震金物、プラント架台、および土木付属設備は除きます

t(トン)

設問 2. 昨年度(2024 年度)の建築鉄骨「自社生産トン数」をお答えください

2-(2) ※自社での生産トン数です

※外注、下請けに出しているものは除きます

※橋梁、橋梁耐震金物、プラント架台、および土木付属設備は除きます

t(トン)

設問 3. 完成売上トン数の対前年比(2023 年度比)をお答えください

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ ① -30%超 | ☐ ⑧ +0%超～+5% |
| ☐ ② -25%超～-30% | ☐ ⑨ +5%超～+10% |
| ☐ ③ -20%超～-25% | ☐ ⑩ +10%超～+15% |
| ☐ ④ -15%超～-20% | ☐ ⑪ +15%超～+20% |
| ☐ ⑤ -10%超～-15% | ☐ ⑫ +20%超～+25% |
| ☐ ⑥ -5%超～-10% | ☐ ⑬ +25%超～+30% |
| ☐ ⑦ 0% ～ -5% | ☐ ⑭ +30%超 |

設問 4. 完成売上額の対前年比(2023 年度比)をお答えください

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ ① -30%超 | ☐ ⑧ +0%超～+5% |
| ☐ ② -25%超～-30% | ☐ ⑨ +5%超～+10% |
| ☐ ③ -20%超～-25% | ☐ ⑩ +10%超～+15% |
| ☐ ④ -15%超～-20% | ☐ ⑪ +15%超～+20% |
| ☐ ⑤ -10%超～-15% | ☐ ⑫ +20%超～+25% |
| ☐ ⑥ -5%超～-10% | ☐ ⑬ +25%超～+30% |
| ☐ ⑦ 0% ～ -5% | ☐ ⑭ +30%超 |

設問 10. 決算状況の対前年比(2023 年度比)について伺います

売上総利益(粗利益)の対前年比(2023 年度比)をお答えください

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ ① -20%超 | ☐ ⑥ +0%超～ +5% |
| ☐ ② -15%超～-20% | ☐ ⑦ +5%超～+10% |
| ☐ ③ -10%超～-15% | ☐ ⑧ +10%超～+15% |
| ☐ ④ -5%超～-10% | ☐ ⑨ +15%超～+20% |
| ☐ ⑤ 0%～ -5% | ☐ ⑩ +20%超 |

設問 11. 決算状況の対前年比(2023 年度比)について伺います

営業利益の対前年比(2023 年度比)をお答えください

- | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| ☐ ① -20%超 | ☐ ⑥ +0%超～ +5% |
| ☐ ② -15%超～-20% | ☐ ⑦ +5%超～+10% |
| ☐ ③ -10%超～-15% | ☐ ⑧ +10%超～+15% |
| ☐ ④ -5%超～-10% | ☐ ⑨ +15%超～+20% |
| ☐ ⑤ 0%～ -5% | ☐ ⑩ +20%超 |

設問 12. 経営上、現在課題となっていることは次のどれですか(複数回答可)

- | | |
|--|---------------------------------------|
| ☐ ① 受注量が少ない | ☐ ⑥ 資金繰り難 |
| ☐ ② 受注単価が低い | ☐ ⑦ 従業員の採用難 |
| ☐ ③ 客先の与信問題 | ☐ ⑧ 従業員の人材難 |
| ☐ ④ 鋼材他価格の上昇 | ☐ ⑨ 追加変更代金の回収難 |
| ☐ ⑤ 鋼材の入手難 | ☐ ⑩ 図面決定の遅延 |
| ☐ ⑪ その他(下枠内に具体的に記入してください) | |

設問 13. 受注物件の追加について(追加/変更工事)伺います

追加分、変更分についても受注先へ請求ができていますか

- | |
|--|
| ☐ ① できている(請求している) |
| ☐ ② できていない(請求できない/請求できていない) |

働き方について回答ください

設問 14. 従業員の時間外労働(残業時間及び休日労働)は
ひと月あたり平均何時間ですか

- ☐ ① 20 時間未満
☐ ② 20 時間以上～45 時間未満
☐ ③ 45 時間以上

設問 15. 年間休日は下記のどれに該当しますか(1 日／8 時間勤務を基準)

- ☐ ① 年間 100 日未満
☐ ② 年間 100 日以上～110 日未満
☐ ③ 年間 110 日以上～120 日未満
☐ ④ 年間 120 日以上
☐ ⑤ 年間 120 日以上、かつ週休 2 日

設問 16. 従業員の年間有給休暇の平均取得日数(実態)は、下記のどれに該当しますか

- ☐ ① 年間 5 日未満
☐ ② 年間 5 日以上～10 日未満
☐ ③ 年間 10 日以上～15 日未満
☐ ④ 年間 15 日以上～20 日未満
☐ ⑤ 年間 20 日以上

設問 17. 賃上げについて伺います

貴社は賃上げを行いましたか？(年間総額／年収ベースで)

- ☐ ① 賃上げを行った
☐ ② 賃上げは行っていない

設問 18. 設問 17. で「①賃上げを行った」と回答された方に伺います

具体的な賃上げ率を教えてください(年間総額／年収ベースで)

- | | |
|---------------------------------------|---|
| ☐ ① 0.5%超～1.0% | ☐ ④ 5.0%超～10.0% |
| ☐ ② 1.0%超～3.0% | ☐ ⑤ 10.0%超～20.0% |
| ☐ ③ 3.0%超～5.0% | ☐ ⑥ 20.0%超 |

設問 19. ※設問 17. 18. を踏まえて

人件費・原材料費、エネルギー費等の上昇に伴い、価格転嫁出来ていますか

- ☐ ① 転嫁できている
☐ ② 転嫁できていない

設問 20. 会社で SNS をどう活用しているか、具体的に教えてください

また、業務の効率化で AI 活用、DX 化されているもの(実例)があれば教えてください

設問 21. 人手不足の現状について伺います

貴社の人手は足りていますか

- ☐ ① 人手は足りている
☐ ② 人手不足である

設問 22. 設問 21. で「人手不足である」と回答された方に伺います

業務別でどれくらい(何人)足りないのか、具体的な人数で回答ください

※ここでは男女問わず、人数を回答ください

①	一般事務関係	名
②	営業関係	名
③	設計、図面、積算担当	名
④	製造管理、検査関係(施工管理)	名
⑤	工場作業者	名
⑥	その他職種	名

設問 23. 外国人材を受け入れている方に伺います

採用している外国人の出身国を教えてください(複数回答可)

- ☐ ① 中国
☐ ② ベトナム
☐ ③ カンボジア
☐ ④ ミャンマー
☐ ⑤ フィリピン
☐ ⑥ インドネシア
☐ ⑦ ブラジル
☐ ⑧ 上記以外の国(下枠内に具体的に記入してください)

--

設問 24. 外国人材を受け入れている方に伺います

外国人材受け入れにおいて、過去に問題が起きたことがありますか

もしあれば、その対応策含め教えてください

--

貴社の事業について回答ください

設問 25. 現在の事業内容を教えてください

- ☐ ① 鉄骨加工(業)のみである
- ☐ ② 鉄骨加工(業)以外の事業も展開している
- ☐ ③ 現在は鉄骨加工(業)のみであるが、他の事業展開も検討している

設問 26. 設問 25. で

「②鉄骨加工(業)以外の事業も展開している」「③他の事業展開も検討している」

と回答された方に伺います

具体的にどのような事業を展開しているか、また検討しているか、教えてください

--

設問 27. 自社の後継者は決まっていますか

- ☐ ① 後継者は決まっている(未だ承継はしていない)
- ☐ ② 後継者は決まっていない(問題解決していない)
- ☐ ③ 既に承継済である(当面問題はない)
- ☐ ④ 他社協業、M&A、もしくは廃業を検討している
- ☐ ⑤ 無回答(答えたくない)

鉄骨製作図問題への対応(ファブを守る鉄骨製作図の契約と法令)について回答ください

設問 27. 見積条件書特記事項(※以下、全構協統一様式)を実際に使用しましたか

※必須回答

- ☐ ① 使用した
- ☐ ② 使用する予定ではあるが、機会がまだ無い
- ☐ ③ 使用していない

設問 28. 設問 27. で「①使用した」と回答された方に伺います

「もの決め工程表」は注文者(元請)から契約後、速やかに入手できましたか

- ☐ ① 速やかに入手できた
- ☐ ② 速やかに入手できなかった

設問 29. 設問 28. で「②速やかに入手できなかった」と回答された方に伺います

速やかに入手できなかった理由を教えてください

※例)「もの決め工程表」が契約時ではまだ作成途中であった

--

設問 30. 設問 27. で「③使用していない」と回答された方に伺います

使用していない理由を教えてください

- ☐ ① 契約時に全構協統一書式そのものを受け入れてもらえなかった
- ☐ ② (皆が使用していない中で)使用しづらい
- ☐ ③ その他

設問 31. 全構協統一書式について、改善点があれば教えてください

--

アンケート調査にご協力いただきありがとうございました

以上

【理25-4-報2③】

〈 2024～2025 年度 〉 第 7 回 技 術 委 員 会 議 事 録 （ 案 ）

1. 日 時 2025年6月12（木）14：00～17：00
2. 場 所 全構協会議室＋Web（Zoom）
3. 出席者 岩永委員長、山本委員
 (Web出席) 西山副委員長、成澤、今泉、和田、佐野、谷本、川野 各委員
 (欠席) 船山副委員長
 (事務局) 山田、安藤、新村、齋藤、尾下

4. 議事次第 資料No.

- 1) 委員長挨拶
- 2) 前回議事録の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 1
- 3) 技術委員会での検討事項について
 - ① S造化の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 2
木造化の実態把握のための調査について
 - ② 機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討・・・・ No. 3-1～3-2
支部ヒアリング結果の仕分け結果の確認と今後の進め方協議
 - ③ 溶接施工 WG 活動進捗・・・・・・・・・・・・・・・・・・ No. 4
取組み成果の展開に関して
- 4) 次回開催について
- 5) 副委員長まとめ

5. 議事要旨

- 1) 委員長挨拶；割愛
 - 2) 第6回技術委員会議事録案の確認；割愛
 - 3) 技術委員会での検討事項について
 - ① S造化の推進
 - ・ 事務局より木造化の実態把握のための調査について、調査を開始しており提出期限を7/31（木）としていることが報告された。
 - ・ 西山副委員長より、事例として以下の情報が共有された。
木造に変更（木造化ありきで計画）されたと思われる案件
 - ・ 恵那市立大井小学校屋内運動場（約 3016 m²）、梁間 52m の大スパン構造、推定鉄骨使用量約 400 t、平成 22 年 3 月完成
 - ・ 恵那市立恵那南中学校 3 階建校舎 令和 8 年 3 月完成予定
- 上記2件について、恵那市役所学校教育課を訪ね、聞き取り調査結果は以下の通り。
- ・ 恵那市では、平成 22 年に制定された木材利用促進法に基づき、公共建築物については、木造化・木質化できるものはすべて木造で計画している。県産材・地元産材の利用による補助金もあり、SDGs の観点からも積極的に木造化を進めている。
 - ・ 耐用年数の面で鉄骨造との比較はされたのか尋ねたところ、集成材技術の発達により耐用年数も延びており、木造化をすることが大前提であり鉄骨造との比較は頭がないとの回答であった。

- ・ 上記報告のほか以下の議論が行われた。
 - ・ 学校などの公共建築物、特に体育館のように低層の建物で木造化が進んでいる。
 - ・ 鉄骨造から木造に変更となった事例はほとんど上がってこない可能性があり、西山副委員長からの報告のように、本来鉄骨造がふさわしい案件において木造ありきで計画されたものも現在行っている調査で拾えるようにした方がよい。

→以上を踏まえ、今後以下の方針で進めることとした。

- ・ 事務局は、調査の対象（鉄骨造から木造へ置き換わった案件ばかりでなく、鉄骨造がふさわしい建物が木造で計画・建設された案件も含める）を説明できるペーパーを作成、各委員はペーパーを用いて補足説明を行い情報提供を依頼する。
- ・ 事務局は、補助金について整理し委員に展開する。

② 機械メーカー等との連携による生産性向上施策の検討

- ・ 事務局より、委員が選定したヒアリングメーカーの整理結果およびヒアリング済みの内容について報告された。報告を踏まえ、今後の進め方について協議した。
- ・ 鋼構造ジャーナルにて生産性向上のための機械が紹介されている。単なる紹介で終わるのであれば、ジャーナルの記事で十分である。ジャーナルとは違う切り口で進められないか。
- ・ 全構協の中長期ビジョンでも掲げられている「IoT・DXの推進」「人材確保」「働き方改革」や図面問題などに関係するのは、CADではないか。加工や溶接の機械がブラッシュアップされても大きな生産性の向上は見込めない。

→CADに関して深堀する方向で各委員意見が一致した。

→以上を踏まえ、今後以下の方針で進めることとした。

- ・ 成果まとめの第一弾としてはヒアリング結果を現存設備で対応できることとできないことに分けてまとめる。CADに関してはさらに深堀する。
- ・ 各委員は以前行ったCADアンケートの内容も踏まえ、CADに関して次の3項目を主体に各支部で相談・聞き取りを行い、次回委員会にて議論を深める。
 - ① 現状、機能の不足などにより困っていること（データ互換性、文字化け etc...）
 - ② 深堀することで解決できそうな部分（工程計画の歩掛り設定 etc...）
 - ③ 今後の理想（口で図面が書けないか etc...）

③ 溶接施工 WG 活動進捗

- ・ 事務局より、取組み成果の展開に関して、標準積層の整備とパス間温度管理の合理化に関する方針案が報告され、勉強会の開催について各委員の了承を得た。
- ・ 成果の活用については、技術委員会で協議・検討していくことを確認した。

4) 次回開催について

- ・ 2025年8月19日（火）14:00～17:00（Web開催）

以 上

〈 2024～2025 年度 〉

第 5 回 外部団体との意見交換会対応 WG 議事録案

1. 日 時 2025年6月23日(月) 14:00～16:00
2. 場 所 全構協 会長室 (対面+WEB 会議)
3. 出席者 (敬称略)
リーダー：登尾 メンバー：(WEB 参加) 長谷川、原、川村
(事務局) 安藤、齋藤、尾下

4. 議事次第

資料No.

- 1) WGリーダー挨拶
- 2) 前回議事録の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・No. 1
- 3) 外部団体との意見交換会対応 WG での検討事項について
 - ①「外部団体との意見交換会等の活動」調査・・・・・・・・・・・・・No. 2～4
各支部への項目別の詳細内容の調査結果の確認及びまとめ方について(協議)
 - ②「中央組織または全国規模で取り扱いたい要望事項や意見交換
したい内容」の調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・No. 5～8
前回の協議を踏まえての今後の進め方
- 4) WGリーダーまとめ

5. 議事要旨

- 1) WGリーダー挨拶
登尾リーダーより、WG活動へのご協力のお礼と本 WG での忌憚のない意見ををお願い
する旨の挨拶があった。
- 2) 前回議事録の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・No. 1
事務局より、資料No.1 に基づき議事録案を読み上げし了承された。
- 3) 外部団体との意見交換会対応 WG での検討事項について
 - ①「外部団体との意見交換会等の活動」調査
・各支部への項目別の詳細内容の調査結果の確認及びまとめ方について
事務局より、「外部団体との意見交換会等の活動内容(バックデータ)」で各県よ
りいただいたデータについて、連絡先(組合)、主催、活動に至った経緯の項目を追
加した旨の報告を行った。各県レベルでは各地域の設計事務所(JSCA)との交流は
盛んであり、県によっては、官庁、ゼネコン、教育関係(工業高校の校長会)、との
深いつながりがあるなど、県で交流の濃淡があると報告を行った。
今後の資料のまとめ方としては、特徴ある活動、横展開候補をピックアップして
取りまとめ、支部・組合への情報周知・展開を図っていく。
 - ②「中央組織または全国規模で取り扱いたい要望事項や意見交換したい内容」の調査
・前回の協議を踏まえての今後の進め方
各県の要望などが見えてきたため、あらためて方針を確認することとし、方向性
や検討すべき内容について具体的に明記し協議した。

調査を通して寄せられた要望・意見交換等の多くは、すでに様々な協会活動で取り上げられていることを踏まえ、要望の多い順に整理した 1) から 6) について以下のように進めていくこととなった。

- 1) もの決め工程、図面の不整合、見積条件などの『鉄骨製作図面問題』に関する要望・意見交換が大半を占めており、現在全構協でも継続的に要望活動、意見交換を行っており、全構協活動成果の共有に努める。
- 2) 『働き方改革、物流問題、価格転嫁』に関する要望については、全構協と鉄建協とで、ゼネコン、設計事務所、JSCA との意見交換の場で取り上げられており、重複することとなるため、引き続き意見交換の内容に加えていただく。
- 3) 『S 造化推進』に関する要望については、技術委員会で、鉄連と連携し活動中である。
- 4) 『AW 検定に関する有効期限延長』に関する要望については、昨年度より AW 検定委員会との意見交換会の中で有効期限延長、審査書類の合理化・簡素化を要望中である。

上記 1) から 4) の要望については、全構協で行っている活動を、組合の末端まで周知させるための方法を、今後の検討課題にすることとした。

- 5) 『設計関連（納まり、FAB と設計での鉄骨ディテールの共有、鋼材手配）』については、以下の対応とすることとなった。

- ・「製作しやすい鉄骨のおさまりについての意見交換会」に関する要望については、直接要望先にヒヤリングを行い WG で取り組むかどうか、取り組む場合の進め方について検討する。
- ・「設計者と FAB 側の鉄骨ディテールの共有」に関する要望については、設計者の考え方や、FAB によっても独自のノウハウがあり統一化は難しいので、効率的ではない。FAB 側が積極的に質疑することで FAB が要望する方向に導くことも可能であり、画一的なルールは必須ではないと考えられる。
- ・「設計の際の手配しやすい鋼材の共有」に関する要望については、メーカーの範疇の問題であり、FAB では対応困難なため取り扱わない。

- 6) 『設計関連（設計者との関係構築）』に関する要望については、各県及び地区で個別に活動することの方が実益になると思われる。

4) その他

次回開催日程は、2025 年 7 月 23 日(水)14 時～16 時で対面にて開催することとした。

5) WG リーダーまとめ

今回の開催で、ある程度前へ進めていけるようになってきたことに関する謝意と引き続きご協力いただきたい旨が述べられた。

以 上

2025 全構協発第*号

2025 年 7 月 * 日

正会員 理事長・会長 各位

〃 専務理事・事務局長 各位

一般社団法人全国鐵構工業協会

会長 永 井 毅

【公印省略】

工場認定条件の保持状況確認調査への協力依頼

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の諸事業にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当協会では、鉄骨製作工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定工場を保有する全構成員に対して、工場審査時の品質管理体制が維持されているかの確認調査を 2019 年度から開始いたしました。

初年度は調査対象を全認定工場とし、2020 年度以降は性能評価取得後、丸 2 年が経過した認定工場を対象に調査を実施しましたが、2025 年度は構成員中の全認定工場とします。また、2021 年度の資格者期限不正を受け、当協会として技術者・技能者の有効期限を確認する一覧表の作成もお願いしておりますので、一覧表作成状況に関しましても併せて調査させていただきます。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、別紙「実施要領」に基づき、貴組合傘下の構成員会社（認定工場）に対する下記調査に御協力いただきたく宜しくお願い致します。

敬具

記

1) 確認目的

鉄骨製作工場の信頼性維持・向上

2) 対象工場

一般社団法人 全国鐵構工業協会の構成員で、性能評価機関で性能評価を受け、国土交通大臣より大臣認定を受けた鉄骨製作工場を対象とする

3) 確認内容

①性能評価時からの品質管理体制の変更の有無および変更有の場合の報告書提出状況

②技術者、技能者の資格保有期限を確認できる一覧表の作成状況

4) 確認方法

組合事務局から対象工場に、「協力依頼」を送り、「工場認定条件の保持状況確認書」を提出していただきます。

5) 確認書提出ルート

構成員会社【確認書作成】⇒都道府県組合事務局【確認結果一覧作成】⇒全構協

6) 全構協への提出期限

2025 年 9 月 30 日

7) その他

- ・品質管理体制の変更があつて報告書未提出の構成員会社には、「鉄骨製作工場性能評価工場審査の手引き（平成 27 年 8 月）」を参考に、資格者の充足状況の確認と速やかな処置の実行、性能評価を受けた性能評価機関への報告書の提出をご指導願います。
- ・本件を通じて知り得た情報の、外部への漏えい、不正利用を禁じます。

以上

問合わせ先 全構協 技術部：岸・安藤(tel：03-3667-6501)

2019 年 4 月 11 日 作成
2025 年 7 月 * 日 修正

工場認定条件の保持状況確認 実施要領

一般社団法人全国鐵構工業協会

1) 目的

鉄骨製作工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定工場を保有する全構成員に対して、工場審査時の品質管理体制が維持されているかの確認調査を行う。

具体的には、工場の品質管理体制に変更があった場合に、性能評価基準に基づき変更事項の報告書を性能評価機関に確実に提出しているかを調査することにより、品質管理に必要な資格者の充足状況等に問題がないことを確認する。

2) 対象工場

一般社団法人 全国鐵構工業協会の構成員で、性能評価機関で性能評価を受け、国土交通大臣より大臣認定を受けた鉄骨製作工場を対象とする。2025 年度は全認定工場を対象とする。

3) 確認時期

2019 年度より、毎年度、上期に実施する。

4) 確認内容

- ①性能評価時からの品質管理体制の変更の有無および変更の場合の報告書提出状況
- ②技術者、技能者の資格保有期限を確認できる一覧表の作成状況

5) 確認方法

対象工場に、「工場認定条件の保持状況確認書」を提出してもらう。

6) 確認書提出要領

- ① 全構協より都道府県組合に以下のファイルを送付し、確認協力を依頼する。
 - 別紙 1「構成員宛て協力依頼」(Word ファイル)
 - 別紙 2「工場認定条件の保持状況確認書」(Word ファイル)
 - 別紙 3「認定工場リスト兼確認結果一覧」(Excel ファイル)
 - ※組合ごとのシートに分かれているので、該当シートを使用のこと。
 - ※リストの対象工場は、本年 4 月 1 日時点で性能評価取得している認定工場全てで、日本鉄骨評価センターで性能評価を受けた工場も含む。
- ② 各組合より、傘下の構成員（認定工場）に、別紙 1 と別紙 2 を送付し、協力を依頼する。
 - ※別紙 1 の日付、発信者名、提出期限、問合せ先を各組合用に修正のこと。
 - ※別紙 2 の宛先名を各組合用に修正のこと。
- ③ 認定工場は、別紙 2 に所定の事項を記入して代表者印を押印し、都道府県組合事務局へ PDF または原本をメールまたは郵送で送付する。
- ④ 各組合事務局は、受領した確認書の内容を確認し、事務局使用欄に工場の番号（別紙 3 の番号）を記入して確認印（認印）を押印した後、厳重保管する。
- ⑤ 各組合事務局は、確認書に基づき、別紙 3 の Excel の該当するシートの右欄に品質管理体

制の変更の有無、報告書提出状況および技術者・技能者一覧表の有無を記入し、全構協事務局へ PDF をメールで送付する。

※確認書未受領の工場の欄は空白のままとする。

※送付先：全構協 技術部 岸 (e-mail:gijutsu@jsfa.or.jp)

⑥ 全構協事務局は、受領した「確認結果一覧」の内容を確認し、厳重保管する。

7) 品質管理体制に変更があつて変更事項の報告書が未提出の場合の対応

- ① 認定工場は、品質管理体制の資格者の異動等による変更があつた場合は、「鉄骨製作工場性能評価工場審査の手引き（平成 27 年 8 月）」の 6.4 節を参考に、資格者の充足状況の確認と速やかな処置を行い、性能評価を受けた性能評価機関へ変更事項の報告書を提出する。
- ② 各組合事務局は、認定工場に対して資格試験、技術講習などの情報を提供し、速やかな処置が行えるように協力し、性能評価機関に対する報告書の提出を行うように指導する。

8) 確認書が提出されない場合の対応

認定工場より確認書が提出されない場合、各組合は、認定工場に対して確認書を提出するように指導する。

9) 業務協力手数料

都道府県組合の業務協力、指導に対する事務手数料として 5 万円／年を全構協が都道府県組合に助成する。

~~2 年目（2020 年度）以降は、対象工場が約 1/5 となるので、手数料はなしとする。~~

10) 守秘義務

全構協および都道府県組合には、認定工場の了解なく、本件を通じて知り得た情報の外部への漏えい、不正利用を禁じる。

※各組合事務局は、確認書と確認結果一覧を各組合理事長にも開示しない。

※全構協は、確認結果一覧を外部（性能評価機関等）に開示しない。

以上

2025 年 8 月 1 日

工場認定条件の保持状況確認書 (記入例)

〇〇都道府県〇〇〇〇組合
専務理事・事務局長 殿

〔報告者〕

所属組合名： 〇〇県鉄構工業協同組合

会社名（工場名）：株式会社〇〇鉄工所

所在地： 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇〇

代表者 氏名： 〇〇〇〇

代表者印

グレード： S H M R J

認定番号： TFBM-XXXXX

性能評価年月日： 2019 年 4 月 1 日

性能評価番号： 19MXXXX

掲題の件、下記の通り報告致します。

○ 性能評価時からの、品質管理体制の変更の有無

変更 無	変更 有
------	------

○ 変更有の場合の性能評価機関への報告書提出状況

提出 済	提出 未
------	------

○ 技術者、技能者の資格保有期限を確認できる一覧表の作成の有無

作成 済	作成 未
------	------

上記の内容は、事実と相違ありません。

以上

(事務局使用欄)

番号： _____

確認印



【別紙 3】

2025年度確認対象の認定工場リスト 兼 確認結果一覧(記入例)

作成日をご記入して下さい→ 2025年 9月 15日

都道府県組合名 ○○県鉄構工業協同組合

←団体名をご記入して下さい

1. 北海道

←県ごとにワークシートが分かれていますので該当するシートへご記入下さい

専務理事 事務局長 氏名 ○○ ○○

←名前をご記入して下さい

番号	会社名	工場名	代表者名	〒	住所	電話番号	グレード	認定番号	評価対象期限	品質管理体制 変更の有無	報告書 提出状況	技術者技能者 一覧表の有無
1	○○株式会社	○○支店	○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2027/9/30	無		済
2	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2026/9/30	無		済
3	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2029/5/31	有	済	済
4	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBM-*****	2026/3/31	有	済	有
5	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2027/9/30	無		済
6	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2025/9/30	有	済	済
7	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBM-*****	2026/3/31	無		済
8	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBM-*****	2027/9/30	無		済
9	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2028/3/31	有	済	済
10	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2025/9/30	有	済	済
11	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBM-*****	2026/3/31	無		済
12	○○株式会社	○○事業所	○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2026/12/31	有	済	済
13	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2025/3/31	無		済
14	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBM-*****	2026/9/30	無		済
15	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	H	TFBH-*****	2026/9/30	有	済	済
16	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBH-*****	2026/3/31	有	済	済
17	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBM-*****	2026/12/31	有	済	済
18	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBH-*****	2028/9/30	有	済	済
19	○○株式会社		○○ ○○	XXX-XXXX	○○県○○市○町X-X-X	XXX-XXX-XXX	M	TFBM-*****	2029/3/31	無		済

「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」 (旧：鉄骨技術研究開発助成制度) 2026 年度〈会員応募型〉の募集

当協会が 2017 年度から運用している「鉄骨技術研究開発助成制度」は 2025 年 4 月より制度名称を「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」に変更し、助成対象等を一部改定しております。研究開発だけでなく、技術的な業務改善、技能の伝承や人材育成に関わるテーマまで幅広く募集いたしますので、ぜひご活用ください。

応募期間：2025 年 8 月 1 日（金）～2025 年 12 月 1 日（月）

■主な改正内容

◆目的

【改定前】	【改定後】
全構協構成員各社の技術開発意欲の活性化および技術力向上を図り、鉄骨業界の健全な発展と社会貢献に資すること	全構協構成員各社の技術改善・開発意欲の活性化、 <u>技術力の向上及び技術者・技能者の育成</u> を図り、鉄骨業界の健全な発展と社会貢献に資すること

◆助成対象

【改定前】	【改定後】
鉄骨製作に関する「品質」「生産性」「作業性」など技術的な向上が期待でき、かつ鉄骨業界にとって有益となり得るもの	鉄骨製作の「品質」「生産性」「作業性」「 <u>安全</u> 」などに関わる技術的な向上、 <u>技術・技能の伝承</u> または <u>人材の育成</u> が期待でき、かつ鉄骨業界にとって有益となり得るもの

■テーマ例

《鉄骨製作の「品質」「生産性」「作業性」「安全」などに関わる技術的な向上》

- ◆ 「品質」「生産性」「作業性」「安全」などの向上が期待できる新しい技術、機器・設備の適用・導入検討
～新しい機器・設備の適用・導入に当たって、生産性向上やコスト削減といった効果・メリットを評価・検討するために要する費用を助成します。～
～長期保管した部材のさび止め塗装が剥がれてしまう。最善・最新の塗装方法を検討したい場合などの費用を助成します。～
- ◆ 「品質」「生産性」「作業性」「安全」などの向上につながる標準マニュアル類の整備
～安全意識を高め、労働災害を防止するための資料を作成するための費用を助成します。～

《技術・技能の伝承が期待できるもの》

- ◆ 潜在知識・ノウハウの見える化
～文書化されずに個人の知識に留まっている技術、知識及びノウハウなどを文書や動画にして見える化するための費用を助成します。～

◆ 不具合事例等の収集や編集

～保有している不具合事例、ノウハウ及び知見等をわかりやすく編集したり、個社情報を組合・支部レベルで収集・整理したりするために必要な費用を助成します。～

《人材の育成が期待できるもの》

◆ 技術者や技能者の養成につながる標準マニュアル類の整備

～各種設備や機器の操作性を習得させるためのビデオ・映像などを作成する費用を助成します。～

◆ 鉄骨製作・検査に関わる各種自社資料の翻訳

～外国人作業者の指導・育成のために必要な自社資料の翻訳に要する費用を助成します。～

◆ 周辺地域の教育機関（小中高校など）の課外授業への参画を通した鉄骨製作の認知・周知活動

～周辺地域の教育機関からの課外授業参画依頼などに対応する場合に、鉄骨製作に関わる教材作成、実技体験準備および実技演習などに要する費用を助成します。～

■制度の概要

1) 応募資格

全構協構成員または正会員（組合） ※共同実施者の所属は問いません。

2) 助成対象

鉄骨製作の「品質」「生産性」「作業性」「安全」などに関わる技術的な向上、技術・技能の伝承または人材の育成が期待でき、かつ鉄骨業界にとって有益となり得るもの

3) 助成額

1テーマあたり最大300万円かつ総額の2/3以下 ※取組み期間は対象年度内で設定

4) 成果報告

取組み期間内に取組み成果および会計の報告をお願いします。

全構協は、取組み成果報告書をホームページに掲載致します。

5) 応募方法

全構協 HP の会員コーナー/鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度 (<https://jsfa-web.jp/members/grant/>) より、様式 A・B をダウンロード・記入の上、次の宛先までメールでご提出ください。

【全構協技術部 (gi_jutsu@jsfa.or.jp) ※構成員の方は CC で所属の組合にもご送付ください。】



制度の詳細は、全構協 HP の会員コーナー/鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度 (<https://jsfa-web.jp/members/grant/>) をご覧ください。

◀◀ 左記の QR コードからもアクセスできます。

【問合せ先】

一般社団法人全国鐵構工業協会 技術部

TEL 03-3667-6501（お気軽にご相談ください。）

「鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度」成果報告会について

(旧：鉄骨技術研究開発助成制度) <全構協実施型>

【目的】

全構協の構成員に対し、表記助成制度（全構協実施型）において得られた知見・成果の展開・共有を図る。

【実施テーマ】

①半自動 CO₂ アーク溶接によるロールコラム-通しダイアフラムの適切な溶接施工法の提案
(2020～2022 年度_兵庫県鉄工建設業協同組合)

→コラムコーナー部の溶接施工手順並びに溶接ビード形状による塑性変形能力に与える影響を調べ、適切な施工法を提示する。

②完全溶込み溶接の標準積層の整備とパス間温度管理の合理化

(2022～2023 年度_東京鉄構工業協同組合)

→標準積層による種々の溶接条件における溶接入熱と強度の実証実験を行い、提案条件
(30kJ/cm 450℃管理) による溶接施工の合理化と溶接金属の保有性能を提示する。

【費用負担】

鉄骨製作支援協議会の 2025 年度事業予算を充当する（支援協議会の承認済み）。

実行予算（概算） ￥1,000,000～1,200,000

【開催要項】

○開催日：2025 年 11 月 7 日(金) 13：00～16：00（予定）

○開催場所：東京都中央区（最寄り駅 東京駅）

○開催方法：実地開催（後日全構協ホームページにて WEB 配信）

○募集要項：全構協及び関連団体へメールにて周知（全構協ホームページにて申し込み）

○参加費用：無料

○募集人員：150 名（会場収容人数）

○スケジュール案：

13:00～ 永井会長より開催のご挨拶

13:15～ 主旨説明

13:30～「ロールコラム-通しダイアフラム溶接施工」講師：田中剛（神戸大学教授）

14:40～「標準積層整備とパス間温度管理合理化」講師：浅田勇人(芝浦工業大学教授)

以 上

全構協構成員向け

2025 年 7 月 日

特定技能外国人を雇用している事業者

特定技能外国人の活用を予定している事業者 各位

(一社) 全国鐵構工業協会

組合名等 (必要に応じてご記入下さい)

工業製品製造業分野にて特定技能制度を担う民間団体
(一般社団法人工業製品製造技能人材機構「JAIM」)に関する御案内

拝啓 盛夏の候、貴社ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、工業製品製造業分野特定技能外国人の適正かつ円滑な受入れ推進を担う特定技能外国人受入事業実施法人として「一般社団法人工業製品製造技能人材機構 (以下「JAIM」)」が経済産業大臣の登録を受けました。

工業製品製造業分野の特定技能外国人を雇用している事業者および特定技能外国人の活用を予定している事業者におかれましては、JAIM への賛助会員としての入会が必要となりますので、御案内申し上げます。

なお、JAIM の賛助会員の年会費に関連し、当協会 (全国鐵構工業協会) は、JAIM の正会員となっておりますので、会員企業各位は「正会員団体に所属する場合の割引」の適用対象となります。ついては下記の通り御案内申し上げます。

敬具

記

1. JAIM とは

[JAIM について | 一般社団法人工業製品製造技能人材機構 \(JAIM\)](#)

2. JAIM の入会手続きについて

(1) 手続きの概要 (詳細は以下 URL のマニュアルを御参照ください)

- 各事業者にて、自身の該当する区分のマニュアルに沿って手続が必要です。(手続は事業所単位)

<https://www.jaim-skill.or.jp/entry/>

区分	参照マニュアル	手続期間
すでに協議会会員の事業者が JAIM の賛助会員に入会する手続	A パターン	令和7年7月1日(火)～ 7月22日(火)
協議会に入会手続中の事業所が JAIM の賛助会員に入会する手続	B パターン	
上記以外で、JAIM の賛助会員に新規入会する手続	C パターン	随時

3. JAIM の年会費（概要）

- ・ JAIM への入会・所属継続に当たっては、年会費がかかります。
- ・ 2025 年度、2026 年度以降の年会費の詳細についてはマニュアルをご参照いただくか、JAIM へ直接お問合せ下さい。

【2025 年度の年会費（詳細については、マニュアル参照）】

中小企業 3 万円、大企業 4 万円（JAIM の正会員である業界団体に所属する場合）

中小企業 3.15 万円、大企業 4.15 万円（JAIM の正会員である業界団体に所属しない場合）

4. JAIM の年会費の割引について（特に「正会員団体に所属する場合の割引」）

(1) 年会費割引の種類

JAIM の年会費には、以下の①・②の 2 種類の割引制度があり、両方の利用が可能です。

① 中小企業割引 (中小割)	中小企業庁の中小企業の定義に照らし、各事業者にて「資本金を証明する資料」、または「従業員数を証明する資料」を準備するものです。
② 正会員団体に所属する場合の割引 (団体割)	<u>JAIM の正会員の製造業団体に加入している法人・事業所限定の割引制度</u> です。(詳細は (2) 参照)

(2) 正会員団体に所属する場合の割引について

① 団体名の選択をする

- ・ 画面上にて、全国鐵構工業協会（または自身が加入している各都道府県組合名）を検索して選択してください。名称の一部で部分検索も可能です。

組合名	●●●●●●●●●●
-----	------------

② 正会員団体割引適用に伴う証跡書類について 【証跡書類アップロードは不要です】

- ・ 当協会（全国鐵構工業協会）より JAIM 事務局に対し、「事業者（構成員）名簿」を提出済みですので、JAIM のシステム上で団体名を選択すると、そのまま次に進めます。
(証憑のアップロードを求めるボタンは現れません)

正会員団体に所属する場合の割引適用

☒ 正会員団体に所属しており割引適用を希望する ☐ 正会員団体所属の割引適用を希望しない

加入している団体名

必須

貴社が加入している団体名を入力して検索してください。〔部分一致検索可〕

ステンレス流通

上記ワードで加入団体名を検索 🔍

団体名 全国ステンレス流通協会連合会

※ 選択した団体では証明書の提出は必要ありません。「次へ」を押して進んでください。

5. JAIM のお手続きに関する相談窓口について

JAIM の手続きにおいて不明な点があれば、以下の相談窓口まで御連絡ください。

一般社団法人工業製品製造技能人材機構 相談窓口

電話番号 03-6838-0077

対応日時 10時00分～17時30分(土日・祝日・年末年始を除く)

メールアドレス seizou_tokuteiginou_soudanmadoguchi@jaim-skill.or.jp

※メールでお問合せの際には、必ず以下の項目・内容をご記載ください。

【件名】JAIMに関する問合せ

- ①企業名
- ②住所
- ③電話番号
- ④氏名（ふりがな）
- ⑤問合せ内容

以上

差出人: somu@jsfa.or.jp
送信日時: 2025年7月7日月曜日 11:18
CC: somu@jsfa.or.jp; gijutsu@jsfa.or.jp
件名: 【重要な御連絡】特定技能外国人材の受入に関する手続きについて（JAİM賛助会員の入会
手続きについて）

正会員 理事長・会長 各位

正会員 専務理事・事務局長 各位

日頃は、特定技能制度の対応に関しご協力をいただき、誠にありがとうございます。
また、昨年 2024 年 9 月に「鉄骨製造業」が工業製品製造業分野における特定技能外国人の
受入れ可能な産業分類に追加されてから以降、構成員の皆様には、「受入れ協議・連絡会」への
加入等、様々なご協力をいただいております。あらためて感謝申し上げます。

さて今回、特定技能外国人の受入事業を実施する新団体、「一般社団法人工業製品製造技能
人材機構（JAİM）」が、6 月 30 日に発足いたしました。今後、特定技能外国人を受入れる全ての
事業者は、賛助会員として当該団体（JAİM）への加入が必要になります。従来、受入事業を
担っていた「製造業特定技能外国人材受入れ協議・連絡会」に加入されていた事業者の方も、
あらためて JAİM への入会が必要になりますので、ご確認・ご対応をお願いいたします。

正会員におかれましては、各構成員企業の皆様に対して、「一般社団法人工業製品製造技能
人材機構（JAİM）」への入会手続きにつきまして、展開いただきます様お願いいたします。
具体的には、JAİM のホームページ（賛助会員入会 ⇒ <https://www.jaim-skill.or.jp/entry/>）を
確認の上手続きを進めていただきます様、構成員の皆様にご案内・お知らせ下さい。

- * 現時点での「協議・連絡会」への加入状況等により、手続き・提出情報に違い
＜A パターン、B パターン、C パターン＞がありますので、ご注意ください。
- * 「協議・連絡会」に加入している事業者＜A パターン＞の方には、既に下記連絡メール
が送らせているはずです。

尚、全構協は、当該法人の正会員として入会しており、全構協の構成員事業者の方には、
年会費について、正会員団体割引が適用されることになっております。

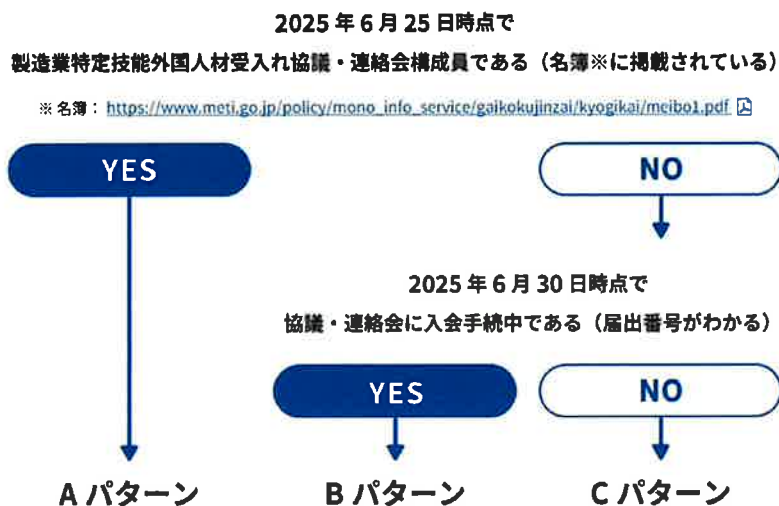
JAİM に対しては、全構協の構成員名簿を提供しておりますので、加入申請時には、
当協会の構成員であることを証明する書類（証跡）を提出する必要はありません。

（JAİM の加入システム上でも、全構協の構成員事業者に対しては、証跡を要求しない仕組みに
なっていると聞いております。）

各構成員事業者の方におかれましては、今後の特定技能外国人材の適切な運用に向けて、
当該団体（JAİM）への加入手続き対応をお願いいたします。
お忙しいところ大変恐縮ですが、よろしくお願いいたします。

全構協事務局 平井

手続パターンの確認チャートと提出書類



様式番号	様式名	Aパターン	Bパターン	Cパターン
1	製造業特定技能外国人材受入れ協議・連絡会から 一般社団法人工業製品製造技能人材機構への情報移行同意書	○ メールで提出	○ メールで提出	－
2	行動規範に係る誓約書	○	○	○
3	反社会的勢力でないことの表明・確約に係る誓約書	○	○	○
4	生産性向上及び国内人材確保のための取組に係る誓約書	○	○	○
5	従業員数証明書	○	○	○
※	製造品証明書類テンプレート等（上乗せ要件証明書類含む： 対象者のみ）	－※	－※	○

※ 様式1「製造業特定技能外国人材受入れ協議・連絡会から一般社団法人工業製品製造技能人材機構への情報移行同意書」を提出いただければ、既に提出済の製造品証明書類テンプレート等の再提出は不要になります。

エレクトロスラグ溶接による柱梁接合部の 設計施工法の研究

ESW研究小委員会

2025年 6月 5日

1

研究推進体制（2025年度～）

エレクトロスラグ溶接による柱梁接合部の設計施工法の研究小委員会
委員長 伊山潤（東京大学）

性能検証WG

東大 伊山先生（主査）
芝工大 浅田先生
宇大 中野先生
大林 大塚英郎
JFE 梅田敏弘
JFE 村上行夫（幹事）
FAB委員
溶材メーカー委員
・・・（必要に応じ）

崇城大 東先生
横国大 松本先生
鹿島 鷺見和人
JFE 沖晃司

東大 佐藤先生
神戸大 水島先生
清水 仁田脇雅史
日鉄 二階堂真人

海外発信WG

東大 伊山先生（主査）
名工大 佐藤先生（幹事）
JFE 沖晃司（幹事）
横国大 石田先生
横国大 松本先生
神鋼 伊藤冬樹
JFE 村上行夫
日鉄 吉本隼
千葉大 原田先生

2

研究目的

委員長	設置	期間	目的・内容
伊山 潤 (東京大学)	2025.04	5年	【目的】 本協会の刊行物である「内ダイアフラム－エレクトロスラグ溶接部の脆性的破断防止ガイドブック」の発刊後、ES溶接は高強度590N級鋼材に適用され、新たな溶接施工方法や解析方法に関する研究の知見が蓄積されてきている。本小委員会では、これまでの知見を踏まえながら、ES溶接による内ダイアフラム形式柱梁接合部の設計施工法の研究に取組み、同ガイドブックの適用範囲を高強度鋼材へ拡張し、信頼性の高い設計施工法の確率を図る。 【内容】 主にTMCP型高強度590N級鋼材を対象とし、ES溶接部に関する以下の研究を行う。 ①破壊予測技術の構築 ②要求性能の解明 ③保有性能の解明 ④設計法の構築 【予定成果】 ・「内ダイアフラム－エレクトロスラグ溶接部の脆性的破断防止ガイドブック」の改定 ・標準試験マニュアルへの反映、JASS6やISOへの反映

5

取組内容

アプローチ方法(取組内容)	最終目標と達成時期
1. き裂進展・破壊を含む有限要素解析技術の構築 * 既往解析技術の整理と検討すべき破壊基準の選定 * 小型試験片を用いた実験による破壊パラメータ同定 * 再現有限要素解析による破壊理論適用と破壊モデルの検証 * 繰返し载荷に対する解析手法の検討	1. き裂進展・破壊を含む解析技術の確立 FY2027 * 要素レベルでのき裂進展および破壊再現までの有限要素解析技術の確立 * 繰返し载荷に対する材料モデルの構築
2. 要求性能の解明 * 鋼種の組合せ・溶接部材質・板厚・接合詳細をパラメータとした溶接継手部分の有限要素解析および载荷実験 * 柱梁接合部を含む部分架構の有限要素解析	2. 要求性能評価技術の確立 FY2028 * 鋼種・接合ディテールを考慮した応力分布の解明とそれに基づく要求性能の評価指標の提示 * 応力状態に応じた必要靱性の設定
3. 保有性能の解明 * 実情把握、施工試験の分析 * 溶接継手部分の熱伝導解析とパラメトリックスタディ * 薄板SPと強制冷却の影響をパラメータとした施工試験 * 材料試験片を用いた各種材料試験による保有性能把握 * 継手試験体の一軸・二軸引張試験による保有性能把握	3. 保有性能評価技術の確立 FY2028 * 施工条件の再設定と高度化 * 薄肉スキンプレートを含む接合ディテールに応じた継手保有性能把握 * 強制冷却による保有性能改善策の提示
4. 設計法の構築 * 現行設計法の課題抽出 * 多様な板厚、鋼種、異種鋼材の組合せの影響の検討 * 得られた要求性能と保有性能の分析 * 強制冷却による靱性向上手法の活用 * 継手耐力評価方法の見直し	4. 新たな設計法の確立 FY2029 * 多様な板厚、鋼種、異種鋼材に対応可能な設計法 * さらなる高強度・高性能鋼材への適用拡大 * 薄肉スキンプレートや内ダイアフラムの適正板厚の設定 * 強制冷却による靱性向上手法の活用 * 有限要素解析を取り入れた高度な設計法の確立
5. 実大架構実験による検証 * 部分架構試験体による実験方法の確立と実験体制の構築 * 架構形状・詳細等、実験変数の検討・決定 * 実施計画策定、試験体製作および実大実験の実施	5. 確立した評価技術・設計法の検証完了 FY2030～ * 実骨組の接合ディテールを考慮した保有性能の実証と要求性能の妥当性の検証 2028

6

その他の定例報告事項

【理25-4-他1】

構成員登録・取消社数累計表

登録・取消承認日	全構協受付締切日	登録社数	取消社数	合計社数
令和7年3月31日現在 (令和6年度増減数)		21	55	2,117
令和7年5月21日 第1回理事会	3月31日	(0)	(19)	2,117
令和7年6月13日 第2回理事会	6月6日	17	1	2,133
令和7年6月13日 第3回理事会	—	—	—	—
令和7年7月22日 第4回理事会	7月15日	2	2	2,133
累 計		19	3	2,133

《グレード別内訳》

S : 9 H : 303 M : 815 R : 544 J : 37 未 : 425 合計 : 2,133

登録構成員増減及び取消理由別社数一覧表

令和7年7月15日現在

区分	登録・取消 承認	増 減								増減差	増 減 後 構 成 員 数	
		登録 社数	取消社数									
			倒 産	転・廃業	縮 小	工場閉鎖	休 業	そ の 他	合 計			
平成21年度合計		37	11	47	34	3	6	50	151	-114	2,538	
平成22年度合計		23	31	39	33	4	7	52	166	-143	2,395	
平成23年度合計		14	13	45	20	3	3	65	149	-135	2,260	
平成24年度合計		20	9	15	19	2	0	35	80	-60	2,200	
平成25年度合計		13	5	5	13	2	2	15	42	-29	2,171	
平成26年度合計		26	2	6	10	0	0	21	39	-13	2,158	
平成27年度合計		36	0	5	9	0	0	11	25	11	2,169	
平成28年度合計		36	1	6	9	1	0	16	33	3	2,172	
平成29年度合計		56	0	9	7	0	0	11	27	29	2,201	
平成30年度合計		34	2	5	6	0	1	13	27	7	2,208	
令和元年度合計		25	0	10	9	1	0	14	34	-9	2,199	
令和2年度合計		32	0	12	6	1	0	15	34	-2	2,197	
令和3年度合計		27	1	10	7	1	0	11	30	-3	2,194	
令和4年度合計		24	1	14	9	3	0	19	46	-22	2,172	
令和5年度合計		21	1	10	4	1	0	26	42	-21	2,151	
令和6年度合計		21	0	20	11	1	1	22	55	-34	2,117	
令和 7 年度	第 2 回 (6月6日)	17	0	0	0	0	0	1	1	16	2,133	
	第 3 回 (一)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	第 4 回 (7月15日)	2	0	1	1	0	0	0	2	0	2,133	
	第 5 回 (月 日)											
	第 6 回 (月 日)											
	第 7 回 (月 日)											
	第 8 回 (月 日)											
	第 9 回 (月 日)											
	年度末処理											
	7年度計		19	0	1	1	0	0	1	3	16	2,133
累 計		1,148	502	728	562	132	80	1,232	3,236	-2,088	2,133	

1. 転・廃業内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	転業 2社	転業 4社	転業 0社	転業 2社	転業 0社
	廃業 8社	廃業 10社	廃業 10社	廃業 18社	廃業 1社

2. グレード別取消内訳	S	H	M	R	J	未	合計
令和3年度	0	2	5	6	0	17	30
令和4年度	0	1	5	7	2	31	46
令和5年度	0	1	11	4	1	25	42
令和6年度	0	0	4	14	0	37	55
令和7年度	0	0	0	1	1	1	3

構成員登録社数・増減一覧表

(R7. 6. 7~R7. 7. 15)

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
北海道 東北	北海道	76			0	76
	青森	34			0	34
	岩手	31			0	31
	宮城	40			0	40
	秋田	23			0	23
	山形	27			0	27
	福島	60		1	-1	59
	茨城	59			0	59
	栃木	49			0	49
	群馬	66			0	66
関東	埼玉	48			0	48
	千葉	58	1		1	59
	東京	48			0	48
	神奈川	42			0	42
	新潟	82			0	82
	山梨	28			0	28
	長野	62			0	62
	富山	37			0	37
	石川	32			0	32
	福井	42			0	42
北陸	岐阜	70			0	70
	静岡	88			0	88
	愛知	125		1	-1	124
中部		59			0	59
三重		59			0	59

支部名	都道府県名	前回	増	減	差	今回
近畿	滋賀	30			0	30
	京都	46			0	46
	大阪	107			0	107
	兵庫	77			0	77
	奈良	34			0	34
	和歌山	36	1		1	37
中国	鳥取	15			0	15
	島根	22			0	22
	岡山	33			0	33
	広島	78			0	78
	山口	37			0	37
四国	徳島	25			0	25
	香川	45			0	45
	愛媛	37			0	37
	高知	22			0	22
	福岡	47			0	47
九州	佐賀	24			0	24
	長崎	18			0	18
	熊本	26			0	26
	大分	19			0	19
	宮崎	27			0	27
	鹿児島	28			0	28
	沖縄	14			0	14
合 計		2,133	2	2	0	2,133

構成員登録申請企業一覽表

令和7年7月15日現在
令和7年7月22日決定

(2 社)

[illegible]

令和7年7月15日現在
令和7年7月22日決定

2 社)

[illegible]

【理25-4-他2】

建築着工面積と鉄骨推定所要量推移

(国土交通省建築着工統計速報による)

2025年7月2日作成

年度	月	全建築物		鉄骨造		鉄骨鉄筋造		鉄骨推定重量計	
		面積	前年 同期比	面積	前年 同期比	面積	前年 同期比	トン数	前年 同期比
平成18年度計		187,611	101.1	70,187	101.2	6,317	115.5	7,334,550	101.8
平成19年度計		157,219	83.8	61,466	87.6	5,443	86.2	6,418,750	87.5
平成20年度計		151,394	96.3	56,639	92.1	4,604	84.6	5,894,100	91.8
平成21年度計		113,196	74.8	37,589	66.4	2,937	63.8	3,905,750	66.3
平成22年度計		122,281	108.0	40,478	107.7	2,731	93.0	4,184,350	107.1
平成23年度計		127,294	104.1	41,792	103.2	2,610	95.6	4,309,700	103.0
平成24年度計		135,452	106.4	46,257	110.7	2,677	102.6	4,759,550	110.4
平成25年度計		148,461	109.6	52,350	113.2	3,466	129.5	5,408,300	113.6
平成26年度計		130,791	88.1	48,554	92.7	3,019	87.1	5,006,350	92.6
平成27年度計		129,605	99.1	48,304	99.5	2,909	96.4	4,975,850	99.4
平成28年度計		134,236	103.6	49,957	103.4	2,171	74.6	5,104,250	102.6
平成29年度計		133,028	99.1	50,701	101.5	2,788	128.4	5,209,500	102.1
平成30年度計		131,078	98.5	50,048	98.7	1,464	52.5	5,078,000	97.5
2019(令和元)年度計		124,936	95.3	44,928	89.8	1,480	101.1	4,566,800	89.9
2020(令和2)年度計		114,114	91.3	40,218	89.5	1,878	126.9	4,115,700	90.1
2021(令和3)年度計		122,466	107.3	45,580	113.3	1,966	104.7	4,656,300	113.1
2022(令和4)年度計		118,676	96.9	41,946	92.0	2,375	120.8	4,313,350	92.6
2023(令和5)年度計		108,314	91.3	38,337	91.4	1,534	64.6	3,910,400	90.7
20 令和 4年度 ～	4月	10,095	98.0	3,799	97.1	154	97.5	387,600	97.1
	5月	8,353	92.9	2,756	95.9	135	90.0	282,350	95.7
	6月	8,811	96.0	3,138	104.8	98	44.1	318,700	102.7
	7月	8,726	94.2	3,216	102.5	49	22.5	324,050	99.8
	8月	8,295	89.1	2,734	94.1	204	127.5	283,600	95.0
	9月	8,901	96.8	3,279	102.4	30	28.8	329,400	101.3
	10月	9,095	83.8	2,956	73.6	341	211.8	312,650	76.3
	11月	8,438	99.1	2,832	102.1	201	254.4	293,250	104.2
	12月	8,031	92.2	2,765	86.2	67	81.7	279,850	86.2
	1月	6,980	87.8	2,496	78.6	162	253.1	257,700	80.4
	2月	8,076	103.8	2,668	89.8	167	303.6	275,150	91.7
	3月	10,620	128.6	3,047	96.0	126	155.6	311,000	96.8
	年度計	104,421	96.4	35,686	93.1	1,734	113.0	3,655,300	93.5
20 令和 5年度 ～	4月	8,461	83.8	3,751	98.7	73	47.4	378,750	97.7
	5月	6,998	83.8	2,885	104.7	53	39.3	291,150	103.1
	6月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	7月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	8月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	9月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	10月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	11月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	12月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	1月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	2月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	3月		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	年度計	15,459	83.8	6,636	101.2	126	43.6	669,900	100.0

(単位) 面積 1,000㎡
前年同期比 %

(注) 鉄骨推定所要量
鉄骨造 ㎡×100kg
鉄骨鉄筋造 ㎡×50kg

2025(令和7)年度 主要会議日程表

日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土						
4							7							10							1						
4	6	7	8	9	10	11	6	7	8	9	10	11	12	5	6	7	8	9	10	11	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26	19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				27	28	29	30	31			26	27	28	29	30	31		25	26	27	28	29	30	31
5							8							11							2						
4	5	6	7	8	9	10	3	4	5	6	7	8	9	2	3	4	5	6	7	8	1	2	3	4	5	6	7
11	12	13	14	15	16	17	10	11	12	13	14	15	16	9	10	11	12	13	14	15	8	9	10	11	12	13	14
18	19	20	21	22	23	24	17	18	19	20	21	22	23	16	17	18	19	20	21	22	15	16	17	18	19	20	21
25	26	27	28	29	30	31	24	25	26	27	28	29	30	23	24	25	26	27	28	29	22	23	24	25	26	27	28
6							9							12							3						
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13	8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27	22	23	24	25	26	27	28
29	30						28	29	30					28	29	30	31				29	30	31				

2025.7.8 現在

□ ↓ 夏期・年末年始休日

■ ↓ 土日・祝日

◇ ↓ 出勤日

▽ ↓ 振替休日

開催年月日		三役会	理事会	総会	全国理事会 事務局長会議	委員会	その他	備考
2025 年 (令和7年)	4 月 11 日	金 12:00			15:00 ※		16:30 懇親会	※全国事務局長会議
	5 月 13 日	火 14:30						12:00 全鉄評取締役会
	5 月 21 日	水 10:30						※決算・事業報告・総会招集
	6 月 13 日	金 9:30	14:00 ※	15:00			17:00 懇親会	14:00 全鉄評株主総会
	6 月 24 日	火 13:00						
	7 月 8 日	火 14:00					17:30 懇親会	
	7 月 22 日	火 10:30	14:00					
	8 月 5 日	火 14:00						
	8 月 6 日	水					11:30 技術審議会	
	9 月 9 日	火 14:00						
	9 月 16 日	火 9:30	11:30				15:00 賛助会員との懇親会	17:00 賛助会員との懇親会
	10 月 7 日	火 9:00						12:00 全鉄評取締役会
2026 年 (令和8年)	11 月 11 日	火 10:00						
	11 月 18 日	火 12:00	15:00 ※					※移動理事会
	12 月 11 日	木						12:00 全鉄評取締役会
	12 月 12 日	金 14:00					18:00 事務局職員との懇親会	
	1 月 16 日	金 9:30	11:30		14:00 ※		16:00 新年賀詞交歓会	※全国理事長会
	2 月 10 日	火 14:00						
	2 月 17 日	火 10:30	14:00					
	2 月 18 日	水						
	3 月 10 日	火 14:30					13:00 青年部会との意見交換会	16:00 青年部会との懇親会
	3 月 24 日	火 10:30	14:00					12:00 全鉄評取締役会

開催団体		2026(令和8)年度 予定	
【青年部会】 総会・会長会議：2026年4月19日(土) 仙台	その他	2026年4月10日(金)	三役会(12:00) 全国事務局長会議(15:00) 懇親会(16:30)
		2026年5月19日(火)	三役会(14:30) 参考:全鉄評取締役会(12:00)
		2026年5月26日(火)	三役会(10:30) 理事会(14:00)
		2026年6月12日(金)	三役会(9:30) 理事会(11:30) 総会(15:00) 懇親会(17:00) 参考:全鉄評株主総会(14:00)

* = 変更箇所

< 北海道支部 > 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 6月分

(A)		提出日 令和7年7月9日	
①全構協推進事業の現状		②支部活動状況	
支部	道内各支部活動・行事等	北海道支部(鉄骨部会)活動・行事等	
道央	・3日(火) 三役会・役員会	・9日(月)～10(火) 建築鉄骨製品検査技術者 学科講習会	
函館			
室苦小樽			
旭川	・9日(月) 営業会議 (4社)		
北見	・11日(水) 三地区合同会議(釧路開催) ・24日(火) 委員会(例会)		
帯広	・11日(水) 三地区合同会議(釧路開催)		
釧路	・11日(水) 三地区合同会議(釧路開催)		

(B)										
①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
支部	S・H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
道央	3 ～ 9	2 ～ 5	1 ～ 3	75 ～ 100			○			
函館	3 ～ 4	2 ～ 5	2 ～ 3	80 ～ 100		○				
室苦小樽	1 ～ 6	2 ～ 5	1 ～ 2	75 ～ 100		○				
旭川	12	8 ～ 10		0 ～ 100		○				
北見		1 ～ 7		90 ～ 100			○			
帯広	2 ～ 12	1 ～ 4	1 ～ 2	90 ～ 120			○			
釧路	11	6 ～ 9		30 ～ 100		○				

(C)		現状と今後の状況の見通しについて
支部		
道央	・山積みはS・Hは3-9ヶ月、Mは2-5ヶ月で前月と変わらず。RJ未は1-3ヶ月でやや減少。工場稼働率はS・H・Mは90～100%で変わらず。RJ未は75～120%でやや増加。見積は「少ない」が18社から減少し15社。「同じ」が12社から増加し13社。「多い」が2社増加し3社となり、若干増加傾向。これまで同様「新規・中小物件の見積りが少ない」、「官庁の設計見積が多く、民間工事の見積りが少ない」、「全国の値下がり傾向が北海道にも影響」、「図面の決まりが悪い」のほか、「案件の中止・延期のため山積調整に苦慮」というコメントがある。 1-6月の積算量は41,577tで、平年比63%、前年比67%	
函館	・先月あたりから稼働率・山積み共に他支部からの製作協力要請等もあり、平均すると高めで推移している。見積(中小規模)は計画を含め出てきてはいるが管内の物件は少ない。価格については大きく変わりなし。	
室苦小樽	・稼働状況は改善されてきているが、各社バラつきがある。来年春以降の案件の概略見積が出始めている。	
旭川	・製作の山: 10月頃まで受注が見えている状況の会社が多い。受注内容: ここきて、改修工事が増えてきている印象。会社により店舗と倉庫が多いところもあり。見積状況: 件数としては例年通りの印象の会社がやや少ない状況。	
北見	・相変わらず図面の決まりが悪く、工場の工程に支障が出ている。	
帯広	・一部を除き、見積は若干減少傾向。工場稼働率は上がってきているが秋以降は不透明な状況。	
釧路	・各社の稼働率は80～90%。物件の話はあるものの、実際に動き出すまでには時間がかかりそう。中小物件は依然として少ない状況。	

＜東北支部＞ 状 況 報 告 書

2025 年（令和 7 年）6 月分

(A)

提出日 令和 7 年 7 月 2 日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	東北支部活動・行事等
青森県	○6/5 青年部通常総会 ○6/12.13.18.25 前期性能評価（4 社） ○6/19 鉄骨部会担当者会議	○6/2 会計監査（盛岡、青森） ○6/5～6 鉄骨製品検査技術者学科講習（仙台） ○6/16～20 NDI-UT レベル 1 基礎講座（多賀城） ○6/17 東北鉄構工業連合会（東北支部）通常総会・定例役員会等（仙台） ○6/18～19 鉄骨超音波検査技術者学科講習（仙台）
岩手県	○6/10 技術・品質サポート（1 社） ○6/11 県南支部会 ○6/20 岩手県建設産業団体連合会（建産連）総会 ○6/23 盛岡支部監査・支部会・通常総会・懇親会	
宮城県	○6/9 宮城県建設専門工事業団体連合 総会 ○6/10 青年部移動総会・デンロコーポレーション東北ガルバセンター工場見学 ○6/26 営業担当者会議（延期）	
秋田県		
山形県	○6/13 超音波探傷技術研究会 探傷器点検・役員会 ○6/26 青年部総会・説明会 ○6/21～22 構造物鉄工 1 級実技試験対策講習会 ○6/28～29 構造物鉄工 2 級実技試験対策講習会	
福島県	○6/3,4,5,6,27 技術・品質サポート(各 1 社) ○6/11 営業責任者会議 ○6/25 工場審査（1 社）	

(B)

①手持ち工事量（ヵ月）				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費（千円）		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S 造 (H+H)	S 造 (コラム H)	SRC 造
青森県	4～11	1～8	1～3	50 ～ 120			○			
岩手県	4～12	2～6	1～4	50 ～ 110			○			
宮城県	4～17	2～8	1～3	60 ～ 100			○			
秋田県	5～18	2～6	2～6	50 ～ 110			○			
山形県	3～14	1～10	1～4	90 ～ 120			○			
福島県	4～14	2～12	1～4	10 ～ 120			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
青森県	工場稼働率は全体的に大きな変化はないが、県内物件の動きは引続き鈍く、仕事量のバラツキが顕著となった。県外 FAB が地元物件を安い指値で受注している情報もあり、小規模案件も慎重に価格交渉するよう、組合間でより一層注意を呼び掛けている。
岩手県	工場加工費の平均値は横ばい傾向だが、手持ち工事量・工場稼働率は低下し、見積物件数も依然低調。工期のズレに起因する仕事の山谷の調整の調整に苦慮する声も多く、来年まではこの傾向が続くのではないかと見方が大半を占めている。
宮城県	当面は工事受注量、稼働率共に確保できている Fab も多いが、工期遅延の影響で予定外の残業を強いられるケースも散見される。公共工事の見積もりが増えつつあるので、秋口以降の発注増に期待したい。
秋田県	相変わらず、中小物件は見積もりを含め、非常に少ない状況です。H グレードも 7 割～8 割の稼働で外部への手伝いがいらなくらいの稼働率です。単価が今後、今以上に下降していくことが懸念されます。
山形県	見積物件数は相変わらず少なく、受注量も減少傾向であり、先行き不安である。
福島県	稼働率・受注残について、実態と乖離しているのではないかと声が出ている。夏場までは稼働するが、秋冬にかけて稼働率が一時的に下がってしまうことや、その後の工事も延期や中止がないか不安。地元中小物件は、相変わらず見積数が少ない。

< 関東支部 > 状況報告書

2025年(令和7年) 6月分

(A)

提出日 令和7年7月4日

①全構協進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	関東支部活動・行事等
東京都	14日 東構塾(第10期第1回) 23日 理事会、M部会 25日 性能評価説明会 性能評価サポート(2社)	7～11日 UT基礎講座(ポリテク新潟)13名 13～14日 鉄骨製品検査学科講習会 埼玉県産連研修センター 137名 26日 第1回関東支部会
千葉県	3日(火)千葉県建築士事務所協会総会 6日(金)青年部ゴルフコンペ 9日(月)JSCA千葉 総会 11日(水)千葉県建築士会総会 12日(木)組合ゴルフコンペ 13日(金)産連連総会 20日(金)青年部会総会 26日(木)千葉県中小企業団体中央会総会 工場審査1社	
神奈川県	6日 工場審査事前研修会、12日 神奈川県予算要望ヒアリング(自民党)、 14日 青年部会総会、17日 鉄骨加工業概論に係る工場見学、 19日 事業運営委員会、20日 Mグレード部会総会、RJNグレード部会総会、 24日 横浜市予算要望ヒアリング(自民党)、25日 役員会、27日 共同受注購買勉強会	
茨城県	1日UT実技講習(2日目)、16日建設業協会集会・ベトナム実習生面接(、 19、20日技能実習企業監査、28日東関東非破壊検査研究会総会、 30日茨城中央会70周年記念式典 その他、工場審査3社サポート3社	
埼玉県	4日(水) 総務委員会、共済委員会 11日(水) 理事会、技術講習会、組合創立50周年実行委員会(式典・記念誌) 16日(月) PAWG(フェーズドアレイ実証実験) 21日(土)～22日(日) 県東支部総会 26日(木) 県西支部総会、県南支部会、県北支部会 6月中 性能評価サポート2社	
栃木県	・6/5 運営委員会 ・6/5 技術委員会 ・6/5 経営近代化委員会 ・6/10 青年部役員会 ・6/12 定例理事会 ・6/25 賛助会役員会	
群馬県	6/13青年部会通常総会、6/19群馬RJグレード部会定時総会、サポート実施7件	
長野県	6/1・6/7・6/8 構造物鉄工実技講習会 6/3 県産連総会 6/4 技能士連合会総会 6/6 鉄筋協会総会・建築士協会式典 6/11 福祉共済総会・長野県Mグレード部会総会 6/13 青年部総会・全鉄評株主総会 6/16 県労働局協議会 6/18 性能評価研修会 6/20・6/21・6/22 とび実技講習会 6/27・6/28・6/29 構造物鉄工実技検定	
山梨県	6日 第1回山梨県防災団体会議 7日 山梨県溶接競技大会(一般・高校)&展示体験会 14日 溶接JIS検定、青年部総会10日 理事会 19日 山梨県中小企業団体中央会委員委嘱式 23日 青年部会 24日 溶接安全委員会 26日 経営近代化委員会 30日 教育技術委員会	
新潟県	3日 建専連理事会・定期総会 17日 産連連理事会・定時総会 24日 総務委員会 13.14日 UT検査学科講習会 5. 17～19、25. 26日 性能評価サポート	

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
東京都	4～12	2～6	1～3	50～100			○			
千葉県	12.0	3～5	4.0	80～100			○			
神奈川県	7～10	2～8		70～100		○				
茨城県	8～12	2～6	2	50～100			○			
埼玉県	4～30	2～15	1～5	70～100			○			
栃木県	6～12	1～8	1～6	70～120			○			
群馬県	5～9	3～7	1～3	80～100			○			
長野県	4～13	3～9	3	70～100			○			
山梨県	3～12	0.3～7	2～3	0.3～12			○			
新潟県	3～12	2～8	1～5	40～120		○				

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
東京都	前月から大きな変化はなく、依然として動きの鈍い状況が続いている。一部では2027年度に予定されている大型再開発案件や物流施設関連の引き合いが見られるものの、業界全体の停滞感も解消されていない。ゼネコンや商社からのコスト削減要求は非常に厳しく、見積り段階から激しい価格競争に晒され、その結果、採算ラインの維持は極めて困難となり、赤字覚悟での受注も散見されるなど、健全な価格形成が難しい状況に陥っている。さらに、技能者不足がますます深刻化しており、建設現場の施工能力に対する懸念も高まっている。
千葉県	先行きの仕事があっても工事価格が定まらない状況である。熱中症対策のポスターなど作成してもらいたい。小規模物件が少なくなっているため価格についても厳しい状況。資格の取得の機会を増やしてほしい。
神奈川県	鋼材価格は段々と下がってきている。足元の山積みが多いとの声が多く、仲間内でのやり取りにも限界が生じている。25年度の見積もりは少ない状況ではあるが、26、27年の見積もりは増えている印象です。いままでは首都圏には出てこなかった同業者の進出が目立つようになってきた。
茨城県	・仕事量は多くはないが、ある程度受注出来ている。大型の案件は少ない。鋼材費も多少下がってきているが、それ以上に受注金額が下がっている。人件費、溶剤関係、運賃、重機費等が上がっているのが厳しい状況である。・仕事の出が良くない。ある程度のトン数の仕事の競争が激化している。 ・6月になって仕事が出た感があるが、先行きの見積りは減った感じ。
埼玉県	手持ち量及び稼働率は先月より上がってきた。これは、時期並びに季節要因がある業界特有の事情によるものと推察しており、従来であれば秋口に向け上昇基調になるところであるが、アメリカ第一主義の保護政策発動や中東などでの地政学リスクの高まりが依然あるため、今まで通りいくとは思われない。いずれにせよ、日本経済が上昇基調になるまで一喜一憂が続くと思われる必要がある。
栃木県	・地場の物件が少ない。 ・受注単価の下落傾向が止まらない、人材不足等の声が聞かえて先行き不透明感が否めない。 ・外国人労働者を雇用しているが鉄骨作業に必要な資格が多くて難儀している。 ・失注という言葉をよく耳にするようになった。
群馬県	見積り並びに物件が少ない上、価格の下げ圧力が強い。さらに、トランプ関税の影響で計画が中止となった。
長野県	・先月報告と状況は変わらず・現状も今後の見通しも暗いです・現状、見通し共悪い状況で変化なし ・例年だと今頃から年明けの引合いもある所だが、低調です(物件少ない) ・仕事量が少ない・加工単価が下がっている・見積りも少ない
山梨県	仕事量は会員企業によりまちまちな状態変わらず。全体的には仕事量が少なく、来年度までこの状態が継続すると言われている。名古屋以西のファブが低価格で仕事を受けており、仕事量減少とともに値崩れが発生するという悪影響が出ている。
新潟県	手持ち工事量が少なくなっている。 地場物件が少ないのでGC・商社の指値が厳しくなっている。 副資材、消耗品の単価が値上がりしているため、収益が悪化しているとの回答が増えた。

＜ 北陸支部 ＞ 状 況 報 告 書

2025年（令和7年）6月分

(A)

提出日 令和7年7月15日

① 全構協推進事業の現状		② 支部活動状況
都道府県		
富山県	6日(金) 建産連・通常総会 13日(金) 青年部会・第44回通常総会 北陸BC通常総会 30日(月) 中小企業青年中央会・通常総会	2日(月) 全構協第2回運営委員会(東京) 4日(火) 全国R・Jグレード部会連絡会・ 第2回幹事会 (Web) 12日(木) 全構協・技術委員会(東京) 13日(金) 全構協・第58回通常総会(東京) 全鉄評・第18回株主総会(東京)
石川県	4日(水) 技術・品質サポート制度 9日(月) 技術・品質サポート制度 10日(火) 石川県中小企業青年中央会第49回通常総会 17日(火) 技術・品質サポート制度 13日(火) 全青会北陸ブロック通常総会 20日(金) 技術・品質サポート制度 24日(火) 第1回建設人材確保特別委員会 25日(水) 技術・品質サポート制度 28日(土) 建築鉄骨製品検査・超音波学科試験	
福井県	4日(水) 県中央会通常総会 13日(金) 青年部会北陸BC通常総会 18日(水) 認定部会役員会・講師例会 26日(木) 県建築業団体連合会理事会・総会 27日(金) 県鉄工業団体連合会通常総会	

(B)

① 手持工事量(ヶ月)				② 稼働率(%)	③ 見積物件の傾向			④ 工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
富山県	6～14	2～4	1～3	70～90			○			
石川県	6～10	2～3	1～2	70～100			○			
福井県	6～10	2～4	1～2	60～100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
富山県	大小を問わず物件の中止、延期、規模の縮小など厳しい受注環境が続いている。 一方で建築資材や関連物資、人件費が高止まりしており、組合員同士の情報交換を一層密に行い、 適正価格での受注を目指してこの苦境を乗り切らねばならない。
石川県	仕事量については全体的に増加している傾向もなく、先行きの見通しについても企業にばらつきはあるが、 全体として増加の傾向は無い。上位グレードはある程度仕事量は確保しているが、M・Rグレードについては 空きが出ている企業があり受注に苦慮している様子。公共施設や物流施設の新設・改修などで鉄骨需要 が出ているところもあるが、継続的な仕事量の確保には至っていない。今後も世界的な経済の影響で物件の 見直し、中断、中止等の可能性もあることから広い視野でさまざまな分野の動向にも注視していきたい。
福井県	・県内のプロジェクトが資材高騰、予算不足などにより工期延期、計画縮小、計画中断が余儀なくされる中、民間 の中規模物件も著しく減少している。 ・受注状況は大規模中規模別件共に依然として少なく、上位グレードにおいては受注量低下と稼働率低下が顕著 になっている。中には下位グレード物件に上位グレードが協力する例も見られる。RJグレードでは生産量・稼働率 とともに看過できないほど低迷している。 ・この状況を乗り切るため、ファブ同士による情報交換を一層密にする必要がある。

< 中部支部 > 状 況 報 告 書

2025年(令和7年) 6月分

(A)

提出日 2025年(令和7年) 7月 2日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中部支部活動・行事等	
岐阜県	23 日 (月)	理事会	2 日 (月)	全構協:運営委員会 出席
静岡県	18 日 (水)	三役会	3 日 (火)	} 建築鉄骨製品・超音波検査 技術者学科講習会 開催
	25 日 (水)	役員会	4 日 (水)	
愛知県	5 日 (木)	中央会 通常総会 出席	12 日 (木)	全構協:技術委員会 出席
	10 日 (火)	執行会議・理事会	13 日 (金)	{ 全構協:理事会・総会 全鉄評:株主総会 出席 青年部:中部BC 総会 中部支部会
	13 日 (金)	青年部会 総会	27 日 (金)	
	14 日 (土)	青年部会 ゴルフコンペ	30 日 (月)	
	18 日 (水)	愛知県建築士事務所協会 懇親会 出席		
	19 日 (木)	労働保険事務組合 打ち合わせ会		
	22 日 (日)	名古屋北支部 ゴルフ会		
三重県	5 日 (木)	青年部会		
	20 日 (金)	青年部30周年記念式典		
	26 日 (木)	第2回理事会 性能評価サポート 3件		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
岐阜県	4 ~ 13	3 ~ 6	1 ~ 6	50 ~ 150		○				
静岡県	6 ~ 8	2 ~ 7	1 ~ 5	80 ~ 120			○			
愛知県	8 ~ 11	2 ~ 6	2 ~ 4	60 ~ 120			○			
三重県	9 ~ 11	1 ~ 5	1 ~ 3	80 ~ 114			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
岐阜県	・図面の遅延は相変わらず。納期も変わることがないため、バタバタしている。 ・現場監督(中堅クラス)の力量不足によるシワ寄せがこちらにきて大変。 ・大型物件の情報がなく、先行き不透明。 ・加工単価が下落している。 ・8月までは100%で稼働できそうです。9月以降は仕事が薄い様で心配です。それに伴い受注価格の下落が起きると経費が上がっているのが苦しくなると思います。 ・仕事は有るが、小さくて細かい。
静岡県	・今年中の仕事はどこもある程度は確保できているようだが、来年の仕事が見えてこない状況。東京物件もかなり少なくなっており、単価も厳しいという話を聞く。 ・受注量が限界を超えてきた。単価は変わらないが、鋼材価格が安くなっているため利益は増大傾向。見積り数は変わらないが引き合いは増えているため、この先これ以上は受注を断らざるを得ない。 ・なんとか適正価格を守っていくことが重要であると思われる。 ・来年年明けの山積みがない。ここを埋めるべく営業を掛けていきたい。 ・不透明感が強く、先があまり見えていない。先々の仕事量について、大変厳しい状況、受注金額も採算を割る状況。国内物価上昇とトランプ関税の影響が設備投資への躊躇の原因と思うが、明るい話題が乏しい。 ・応援加工や修繕工事で忙しい。決まっている物件も工事の進捗が鈍いため困っている。 ・金物、改修工事等にて稼働。
愛知県	・見積はあるものの、実際の動きは乏しく、単価についても厳しい。 ・9月～年内はある程度、確保しているが来年の見通しはたっていない。 ・現場工事が続く予定。工場の加工が無い状態。 ・酷い状況がまだ続きそうです。26年発注の物件が中止になる事が多々あります。 ・今年は工事量少ないながらも継続していますが、来年は今年よりも更に少なくなりそうな予測となりますので状況はよくありません。 ・12月くらいまでの予定の物件は引き合い、受注できています。関税の影響で中止・設計変更等の状況の方向性も少しずつ決まってきましたので、年内は稼働率もありそうです。 ・あらゆる商社より一部商社の安値受注について耳にします。これだけ多方から聞くようになると法的措置もできるのでは？ ・工場稼働率が落ちてきているが昨年度の超多忙を考えると今年は準備の年として来年以降に向けて社内体制の見直しや資格取得の推進、社内評価制度の見直しを行いHR強化を行っている。
三重県	・令和7～8年度の仕事量は相変わらず少ない状況。 ・案件が少ない上に、案件の延期・中止・仕様変更が散見される。 ・令和9年度以降は仕事量は増加の見通しであるが、不確定要素が多く安心できない。 ・上記のような状況下、単価の下落は続いており、企業業績に与える影響が顕著。 ・100tクラス以上の見積依頼が出たしたが、総じて30t～50tクラスの見積がメイン。

< 全構協近畿支部 > 状 況 報 告 書

2025年(令和 7年 6月分)

(A)

提出日 令和 7年7月9日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	近畿支部活動・行事等
滋賀県	・6/13, 23、工場審査 2工場 ・6/18 理事会・認定工場部会・賛助会員PR活動実施 ・6/23, 26 性能評価後期申請に関する説明会 3社対象実施	6/5・第1回近畿支部会 6/16/～6/19 鉄骨製品・超音波検査技術者講習会
京都府	6/16四役会 6/21青年部総会 6/23工場サポート	
大阪府	6/4第1回技術委員会・6/11第1回定例理事会 6/12青年部役員会6/26北大阪支部会 工場審査サポート6社	
兵庫県	・6/9 第1回運営委員会 ・6/3 入熱パス間実験 ・6/20 第1回教育技術委員会 ・6/27 サポート 1社	
奈良県	・6/9 第2回教育・認定事業委員会 ・6/18 奈良県中央 会創立70周年式典 ・6/27 第3回三役会	
和歌山県	6/26和歌山県知事・建設関係部への要望(S造推進等について)	

(B)

①手持ち工事量(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
滋賀県	6 ～ 12	2 ～ 6	1 ～ 2	40 ～ 100			○			
京都府	4 ～ 8	3 ～ 6	1 ～ 3	50 ～ 100			○			
大阪府	4 ～ 12	2 ～ 5	1 ～ 3	40 ～ 100			○			
兵庫県	4 ～ 10	2 ～ 6	1 ～ 3	40 ～ 100			○			
奈良県	～	2 ～ 5	1 ～ 3	40 ～ 100		○				
和歌山県	6 ～ 12	1 ～ 5	0 ～ 2	40 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
滋賀県	2025年度も、早期の需要回復が見込めず鉄骨需要量400万トン割れが継続するのではないかと厳しい見方をする声が多い。物件の中止や延期が相次いでおり、各社共、仕事を確保することで精一杯で稼働率も上がらず残業までの必要も無い状態。手持ち工事量は、各社バウツキがあるものの、全体的には秋から年内頃までの状況。ガスや溶接材料などの関連コストも上昇しており、これらの値上がり分を加工費に転嫁する必要に迫られている。2年先の27年度に鉄骨需要の増加を控えるという話もあり期待したい。
京都府	相変わらず引き合い少なく、厳し状況が続いている。先行き未確定。鉄骨工事を取り扱っていなかった企業の参入が増えていて相手先が不慣れな分、図面や承認も遅れがちで変更や訂正も多く、毎回不安案件。図面決定の遅れが目立つ。設計や監理の問題なのか、工期設定の問題なのか、図面や質疑を提出しても返答が遅い。見積件数は多いが、決定に至らず設計変更や工事自体、中止や延期になる物件もあり不安が多い。
大阪府	大阪の工場稼働率は平均50～70%といったところだろうか。波はあってもこの状況が年内は続く感じである。来年の新規物件の話も出だしているが、競争が更に激しく、指値は一層厳くなっている。来年の着工予定増を期待して、もう少し、もう少しだけ辛抱である。格安物件に手を出すと、15年前の二の舞になるかも。
兵庫県	依然として仕事が薄い状況が続くなか、値下げの圧力も上がってきており、稼働維持のために赤字受注をする選択肢が出てきている。 小規模の案件にも大手商社が割り込むことがあり、厳しい状況はまだまだ続きそうである。 仕事量と価格の維持のバランスをとりながらいつまでやっていけるか、不安が残る。
奈良県	見積もりは徐々に、増えて来たように思います。全体的には、物件数が少ないような気もします。大型の案件が決まり、ある程度確保出来ているものの、先行きは変わらず不安です。話を聞く限り、鋼材を扱う業者さんに関しては、まだまだ仕事量が少ないという事です。
和歌山県	前月に引き続き、県内においては公共・民間問わず動きが鈍い。見積り数も増えてこない状態が続いている。主に県外案件を加工する上位ファブにおいても目先の仕事量は薄い。来年後半以降の見積、問い合わせが少し見えてきたのは明るい兆しか。当面はこの状態が続くと思われる。

< 中国支部 > 状況報告書

2025年(令和7年)6月分

(A)

提出日 2025年(令和7年)7月11日

①全構協推進事業の現状			②支部活動状況	
都道府県	各県組合活動・行事等		中国支部活動・行事等	
鳥取県	9 日 (月)	東部支部例会	2 日	全構協:第2回運営委員会(東京)
	18 日 (水)	鳥取県中小企業団体中央会通常総会	3 日	第1回中国支部会
	20 日 (金)	第1回事務局意見交換会(Web)		全鉄評高野社長との懇談 (岡山市)
	27 日 (金)	鳥取県溶接協会総会・表彰式・杜行会	13 日	全構協:第2回、第3回理事会
島根県	6 日 (金)	工場審査サポート 1社(浜田市)		全鉄評:第18回定時株主総会
	11 日 (水)	工場審査サポート 1社(雲南市)		全構協:第57回通常総会(東京)
岡山県	11 日 (水)	岡山県南部高等技術専門校総会(倉敷市)	26 日	全構協:運営委員会(分科3、大阪)
	19 日 (木)	岡山県建築住宅センター株式会社総会(岡山市)	30 日	全構協:運営委員会(分科2、岡山)
	20 日 (金)	第1回事務局意見交換会(web)		
	26 日 (木)	東支部会(岡山市)		
広島県	4 日 (水)	JSCA中国支部総会・講演会・懇親会		
	6 日 (金)	青年部通常総会		
	18 日 (水)	県中小企業団体中央会令和7年度通常総会		
	20 日 (金)	事務局意見交換会(ZOOM)		
山口県	27 日 (金)	組合 第3回三役会・第2回理事会		
	10 日 (火)	工場審査サポート1社		
	18 日 (水)	第2回理事会		
	19 日 (木)	山口県中小企業団体中央会総会		
	20 日 (金)	各県事務局とのWeb連絡会		
	30 日 (月)	工場審査サポート1社		

(B)

①手持工事量(ヶ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
鳥取県	2 ~ 15	1.5 ~ 6	1 ~ 3	70 ~ 110			○			
島根県	1 ~ 2	1 ~ 5	1 ~ 4	50 ~ 100		○				
岡山県	4 ~ 13	2 ~ 10	3 ~ 6	60 ~ 100			○			
広島県	9 ~ 15	3 ~ 8	2 ~ 6	70 ~ 120			○			
山口県	2 ~ 4	0 ~ 5	0 ~ 4	70 ~ 110			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
鳥取県	依然として見積件数・引き合い案件は少なく景気低迷感が震えない状況が続いている。H・Mグレードの手持ち工事量の企業間格差はあるものの、長期間の手持ち工事量の受注Hグレード企業では、免震構造でフェーシング加工と加工難度の高い物件を技術能力・管理能力・生産能力を備え、お得意様との強い信頼関係を保ちながら対応している。今後も先行き不透明感があり、厳しい状況が続く中で、適正価格に応じた内容・お互いの技術能力に合わせた契約条項の取り決めをし、県内外FAB同士の加工協力依頼物件の取引しながら稼働率の維持に努めている。また6月1日から熱中症対策の義務付け適用されて(労働安全衛生法に基づき)今年の梅雨明け宣言が早く毎日暑い日々が長期間続く予想されて、社員の健康管理と熱中症対策に取り組んでいる様子が伺える。
島根県	Hグレードでは、今年の夏は仕事量が少なく非常に厳しい状況ですが、年明け以降の案件・見積りは多く、来年度は山積みが増える見込みです。Mグレードでは、夏場以降の仕事量確保に至っておらず、見積りも概算見積が多く直近の仕事へと繋がらないことから不安感は払拭出来ていません。また、県内物件に於いても安値案件が見受けられる様になって来ましたが、Rグレード以下については、秋口くらいまでは何とか仕事量を確保出来ていますが、上位グレードの手持ち工事量が少ないため工場加工は少なく、金物製作や現場仕事で繋いでいる状況です。
岡山県	夏枯れの時期ではあるが、今年の状況はここ数年でもっとも厳しい。都心を中心に活動するHグレードでも山積みは枯渇しつつあり、それ以下に於いては殆ど仕事が無い状態になりつつある。副業を持つ者、副業として鉄工所をするものは鉄骨以外の部門に注力すれば凌げるが専業で行うものは万策尽きた状況と思われる。折角維持してきた価格が崩れていくのは本当に残念であるが、全国レベルの叩き合いが始まった今個社の死活として価格競争もやむをえないのかもしれない。
広島県	・稼働率については、4月を底に回復傾向が顕著で、回答企業の95%以上が80%以上の稼働率と答え、70%未満と回答した工場はなかった。応援の活用による稼働率の平準化が見られる。 ・手持ち工事量については、グレードや営業範囲による格差が拡大している状況に変化はないが、工事の延期や中止が多く、工程のずれ込みによる製作工程のやりくりの難しさを訴える声が多い。 ・見積り物件については、先行きの不透明感が急速に強まっていた先月(少ない:67%)に比べ、H・Mグレードでは8割以上が多いが普通と答えているが、受注や金額面で厳しいという声が多い。
山口県	・Hグレード…先月先行して製作した製品の金物関係が決まってきたのと変更等が同時に出てきたため、戻り工程になり生産稼働率は上がらなかった。見積り件数は先月より若干増えたが、来年、再来年の設計見積がほとんどで未だに年内の仕事量は少ない状況。 ・M・Rグレード…地域によって公共工事、民間工事ともに見積案件が希薄な状態。県域全般では大手企業の設備投資に伴い若干の物量が見受けられるが、県内ファブの稼働率100%に繋がる程の物量ではないと感じる。現状忙しいと話すファブも図面決定に時間がかかり工程管理に苦慮していたり、見積があっても来年度の見積が多く、今秋の仕事量に不安を感じていると話す。物量が低下するとファブ間での価格低下の競争原理が働かかねない。得意先に県内他地区のファブが飛び込み営業に来たりという情報を聞くようになったとの声もある。仕事量が減少しているのは間違いないため、組合員間の情報交換を密にして仕事のやり取りを続け、今こそ適正価格での対応が必要な時期であると考えている。競争ではなく共存、共栄のためにすべきことの共通認識が重要である。

＜ 四国支部 ＞ 状 況 報 告 書

2024年(令和7年)6月分

(A)

提出日 令和7年7月10日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	四国支部活動・行事等
徳島県	3日(火)、4日(水)鉄工技能実技講習会 2日(月)～5日(木)、16日(月)、18日(水)～20日(金)、23日(月) 建築鉄骨検査技術者(超音波・製品)学科講習会 10日(火)情報交換会 13日(金)青年部会総会	
香川県	3日(火)～6日(金)工場審査サポート(4工場) 18日(水)理事会 20日(金)九州・中国・北海道・四国支部事務局間意見交換会	
愛媛県	14日(土)青年部会総会 26日(木)工場審査	
高知県		

(B)

①受注物件件数(ヵ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
徳島県	1 ～ 6	2 ～ 4	1 ～ 3	～			○			
香川県	～	2 ～ 4	1 ～ 2	70 ～ 100			○			
愛媛県	4 ～ 7	2 ～ 6	2 ～ 6	80 ～ 110			○			
高知県	5 ～	2 ～ 6	1 ～ 3	70 ～ 100			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
徳島県	仕事量は不安定で大型物件が少なく、ゼネコンも中小物件を激安で受注しているようで、安価な物件には近づけない。現場雑務や金物加工のような小物件も1～2ヵ月、見積もりも少ない。今後、システム建築や中層建築の木造化が進むと鉄工所の仕事がさらに縮小する懸念がある。仕事を始めると納期変更の対応に追われている。今年の夏も猛暑、万全の熱中症対策を徹底していきたい。
香川県	前月同様、県内見積物件および受注物件は少なくFAB格差はあるものの厳しい状況が続いています。また、価格面でも競争が激化し下降傾向にあるので組合員間の更なる情報共有が必要と思われる。尚、今後の見通しについても夏以降が不透明
愛媛県	このところ、県内では工場規模が大きい程、受注残を抱えている。といった傾向はなく、グレードに関係なく、中規模工場でも相当数・期間の受注残を抱える工場もある。こういった場合、昔であれば、山積みが少ない工場は空きを埋めるために、安値でも仕事を受けるケースがあったが、現在は、経営者の多くが青年部会出身者という事もある、自社物件が少なくとも、数ヵ月前から組合員同志での情報交換により、工場が空くことなく稼働できるような協力加工体制を構築し、県内物件では安値受注回避に寄与している。
高知県	見積物件数は少ない状況が続いており、同一物件に対し多数の地場ゼネコンより見積依頼で価格も厳しい状況である。

< 九州支部 > 状 況 報 告 書

2025年度(令和7年度) 6月分

(A)

提出日 令和 7年 7月 4日

①全構協推進事業の現状		②支部活動状況
都道府県	各県組合活動・行事等	九州支部活動・行事等
福岡県	・6/3 第4回組合ゴルフコンペ ・6/5 品質向上パトロール(Mグレード1工場) ・6/9～10 建築鉄骨超音波検査技術者学科講習会 ・6/11～12 左同 製品学科講習会 ・6/26 ZRC工法講習会 ・6/28～7/1(5日間) NDI-レベル1 基礎講座	・6/17 全構協九州支部 第2回支部理事会、通常総会(福岡市)
佐賀県	6/11 中小企業団体中央会 総会 6/12 工業連合会 総会 6/13 建産連 総会 6/13青年部会 総会 6/26 審査サポート	・6/20 全構協九州支部 第2回支部事務局Web会議 事務局意見交換会
長崎県	6/18 検査・技術委員会、6/20 県建設産業団体連合会 代表者意見交換会 出席、6/23 県建築鉄骨研究会「鋼構造実験見学会」Web出席、6/27 県建築鉄骨研究会 通常総会 出席	・6/24 全構協九州支部H部会 役員会、パトロール委員会、通常総会、懇親会
熊本県	6/12 理事会 6/19 鉄骨問題協議会	
大分県	6/3～4小野建機堺スチールセンター見学、大阪万博見学会 6/19三役会、理事会、認定部会(対面・WEB併用) 6/18、19、20 UTレベル1学科講習会(ポリテク大分) 6/24工場審査事前打合せ(Mグレード1社)	
宮崎県	6/4 中央会事務局連絡会議監査 6/6 宮崎県建築士事務所協会総会出席 6/19 レディース中央会総会出席	
鹿児島県	6/27総務委員会・理事会 6/30青年部会役員会(Web)	
沖縄県	・6/6建築士事務所協会創立70周年記念祝賀会、12日:中央会総会・受賞者祝賀会、16日:定例理事会、24日:青年部会総会、24日:営業部会、25日:沖縄県建産連役員会・総会	

(B)

①手持工事量(カ月)				②稼働率(%)	③見積物件の傾向			④工場加工費(千円)		
都道府県	H	M	R・J	稼働率(%)	多い	普通	少ない	S造(H+H)	S造(コラムH)	SRC造
福岡県	1 ～ 8	1 ～ 3	1 ～ 2	30～80			○			
佐賀県	9	2 ～ 5	1 ～ 3	70～100		○				
長崎県	4 ～ 12	2 ～ 5	1 ～ 3	20～100			○			
熊本県	7 ～ 8	3 ～ 7	3	90			○			
大分県	3 ～ 8	3	—	60～80			○			
宮崎県	5 ～ 10	1 ～ 7	1 ～ 3	50 ～ 100			○			
鹿児島県	2～12	1～9	1～2	30～100			○			
沖縄県	2	1 ～ 2	1 ～ 2	50～80			○			

(C)

都道府県	現状と今後の状況の見通しについて
福岡県	・大型物件の中止や延期が相次ぎ、Hグレードを含め、工場稼働率が非常に低い状況(秋頃まで続く見込み)
佐賀県	・全国的に需要が低迷しており、受注単価の低下が懸念される。 ・工期の遅れ等により工場稼働率が悪い。工事の全体量が少ない。
長崎県	混沌とした世界の状況があり、前回以上に各社のばらつきが大きい。2次製品の度々の値上げが足かせとなっている状況である。また、熟さ対策も大きい。組合員の結束が最大の要因である。
熊本県	見積が少ない。公共工事が少ない。中小物件が少ない。人材が不足している。 図面の承認が遅いので、予定より作図工程が遅くなり工場の工程がうまく流れない。単価が下がってきている。
大分県	◎計画変更による見積直しが多い。図面承認が遅く稼働率が安定しない。◎いくらでも良いから受注したいという商社がいるようで、物件によってかなり安値が出ている。規模の小さな物件はちらほら発注がかかっているようだが、中規模大規模物件は工期の定まらない物が多いように感じる。
宮崎県	・見積件数、工場稼働率は回復傾向にある。 ・Hグレードが秋以降忙しくなる見込みであることから、情報を共有し山積みの平準化を図る。
鹿児島県	なんとも言いえない停滞感。工場稼働率が著しく低下している。秋以降も未確定な物件が多く、何とか持ちこたえているが、雑工事でもよいので直近の製作物件が欲しいところである。
沖縄県	・稼働率・手持ち量とも各社バラつきがある。鋼材は入荷しているが加工出来ない状況で稼働率が低いファブもある。金物加工等で工場を稼働させている。概算見積もりはあるが、則受注に繋がるような物件は少ない。先行きが不安。

【理25-4-報2②】別冊

テキスト1日目 / 暫定版

人づくり研修 2025

～ あなたの成長が会社の未来につながる ～



- 12:00～13:00 総務委員長挨拶／昼食+専本城PV視聴／自己紹介
- 13:00～13:10 休憩
- 13:10～13:30 講師自己紹介／はじめに・キャリアステップアップモデル 技能習熟モデル
- 13:30～13:50 【GM1】 専本城PVを視聴しての感想共有
- 13:50～14:20 【GM2】 私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？
- 14:20～14:35 休憩
- 14:35～15:05 【GM3】 プロフェッショナルとは何を考え、何ができる人か？
- 15:05～15:45 【GM4】 プロフェッショナルと今の自分は何が違うのか？
- 15:45～16:00 休憩
- 16:00～16:40 【GM5】 あなたの理想の会社とは？
- 16:40～16:55 総括 1日目を受講して
- 16:55～17:00 事務連絡
- 17:30～ 懇親会

1日目 タイムテーブル

はじめに

『すべての行動が社会への貢献になっている』

私たちが日々取り組んでいる鉄骨製造の仕事は、
誰かの暮らし、誰かの働く場、誰かの安全を支えています。
たとえ目立たない作業でも、ひとつひとつが社会の土台を形
づくっています。

～ 講師陣からのメッセージ ～

はじめに

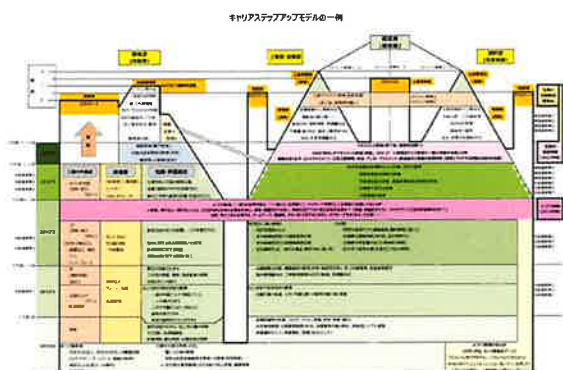
この研修では、

『自分たちの仕事にどんな意味があるのか？』

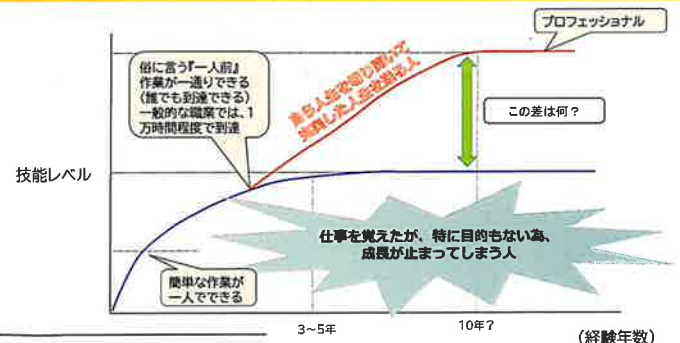
『自分はどこに向かっていきたいのか？』

を一緒に考えていきましょう。

～ 講師陣からのメッセージ ～



成長が止まる人と成長し続ける人の違い



【 GM ① 】

熊本城PV 感想共有



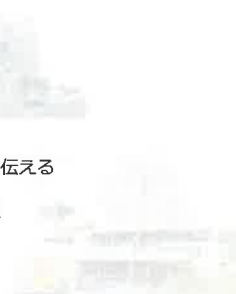
全国建設工務組合

【 GM ① 】

熊本城PV 感想共有

キーワード

- ・プライド
- ・誇り
- ・技術を人々に伝える
- ・鉄骨の必要性



全国建設工務組合

【 GM ① 】

熊本城PV 感想共有

テーマ



何を感じましたか？



全国建設工務組合

【 GM ① 】

熊本城PV 感想共有

発表



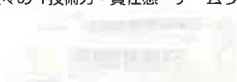
全国建設工務組合

【 GM ① 】

熊本城PV 感想共有

～壊れたものを『元どおり』に戻すのではなく、
未来に受け継ぐための進化した復旧～

- ・困難な状況でも妥協せず、誇りある仕事を貫く姿勢
- ・熊本城を再建する人々の「技術力・責任感・チームワーク」



全国建設工務組合

【 GM ① 】

熊本城PV 感想共有

熊本城の復旧に携わる人々の姿から、仕事への
誇りやプロフェッショナルとしての在り方を学び
自分たちの仕事に重ねて考える。



全国建設工務組合

鉄骨雑談

地震の事例
鉄骨の歴史

阪神淡路大震災
(1995年)

東日本大震災
(2011年)

熊本地震
(2016年)

能登半島地震
(2024年)

(タイ) ミャンマー地震
(2025年)

南海トラフ
(30年以内に70～80%)

【 GM ② 】

私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？



【 GM ② 】

私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？

キーワード

「自分の経験や現場のエピソード」

「鉄骨製造業を知らない人に魅力をどう伝える？」

【 GM ② 】

私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？

テーマ

「自分たちが感じる魅力や、やりがいとは何ですか？」

【 GM ② 】

私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？

発表

【 GM ② 】

私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？

自分たちの仕事を改めて見つめ直し、
鉄骨製造業の魅力を再確認
～仲間と語り合う中で、誇りとやりがいを共有～

【 GM ② 】

私たちの仕事(鉄骨製造業)の魅力とは？

- ・ものづくりの面白さを楽しめる
- ・キャリアアップや高度なスキルが身につく
- ・達成感を得られる
- ・社会に貢献していることを実感できる
- ・モチベーションアップ
- ・多様な仕事内容がある

鉄骨製造業の未来と安定性

- ・注文住宅市場：2045年までに40%減少（野村総研）
 - 一部の非住宅建築は需要増加傾向だが今後の鉄骨全体需要は人口の減少と共に低迷する
 - ⇒しかし、機会を転機にすることが必要（技術革新・耐震工事・データセンター・商業施設・物流倉庫・再開発 等）
- ・構造としての優位性（工場・駅舎・高層ビルに不可欠）
- ・働き方の安定（大手の様なリストラが起きにくい）
- ・技術の伝承が活きる業界（成長を実感しやすい職場文化）
- ・鉄骨業界の特徴
 - 変化が緩やかで腰を据えて働ける（安定している）
 - 技術習得に時間はかかるが、将来も必要とされ続ける
 - IT業界などに比べて人員整理のリスクが少ない

鉄骨業界の未来は明るい！！

鉄骨雑談

鉄骨の歴史



H柱→コラム
(1970年代～)



細幅→中幅主流
バス間温度
SN材
(すべて阪神淡路大震災から)



スカルップからノンスカルップ
(阪神より大震災から)



狭間先
(2000年頃から普及)



フェイスドレイ



BIMの活用
Building
Information
Modeling

【 GM ③ 】

プロフェッショナルとは何を考え、何ができる人か？

【 GM ③ 】

プロフェッショナルとは何を考え、何ができる人か？

キーワード

- ・プロとして
- ・心構え
- ・プロと感じる人
- ・作業者とプロフェッショナルの違い
- ・何を大事にしているか

【 GM ③ 】

プロフェッショナルとは何を考え、何ができる人か？

テーマ

- ・**プロフェッショナル**とは、どんな人だと思う？

【 GM ③ 】

プロフェッショナルとは何を考え、何ができる人か？

発表



【 GM ③ 】

プロフェッショナルとは何を考え、何ができる人か？

「プロフェッショナル」という言葉を、
自分たちの仕事に重ねて深く考える

<憧れ>ではなく目指す存在としてイメージする

鉄骨雑談

鉄骨関連メーカー



鋼板メーカー
日産鋼板
JFEスチール
新日本製鐵
中鋼板
中鋼板



コラムメーカー
JFEスチール (JFE)
VCO (VCO)
マニシング (マニシング)
NTC (NTC)
トランス (トランス)



H形鋼メーカー
JFEスチール
JFEスチール
中鋼板



HTBメーカー
日産鋼板
JFEスチール
中鋼板



溶材メーカー
日産鋼板
JFEスチール
中鋼板



機械メーカー
AMADA (AMADA)
中鋼板

【 GM ④ 】

プロフェッショナルと今の自分は何が違うのか？



【 GM ④ 】

プロフェッショナルと今の自分は何が違うのか？

キーワード

- ・過去の自分と比較して、何が成長したか？
- ・自分には何が足りないのか？



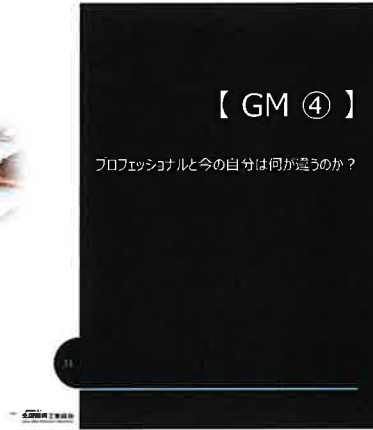
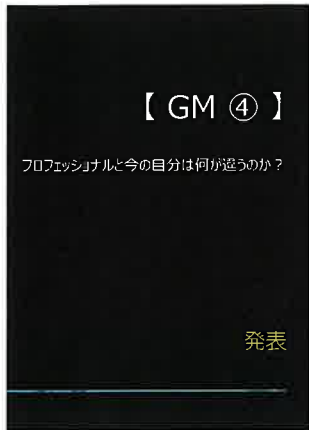
【 GM ④ 】

プロフェッショナルと今の自分は何が違うのか？

テーマ

- ・プロフェッショナルになる為には
今の自分に何が足りないのか？

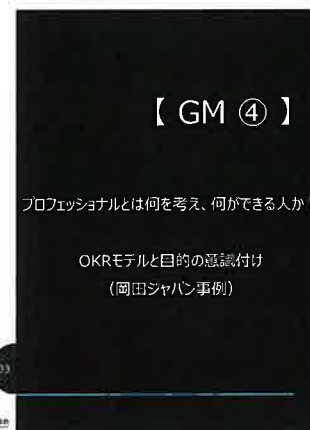




自分自身と**プロフェッショナル**を比較し、
今後の成長点を見つける

自己成長の道を意識し、
次のステップへ進むための目標を立てる

目的と目標の関係図

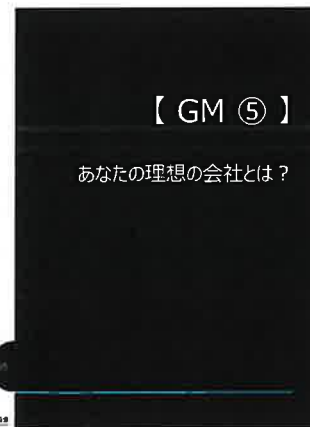
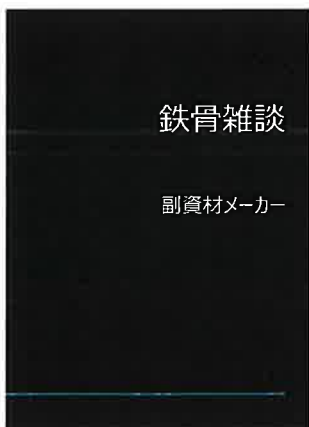


OKRとは、「Objectives and Key Results」の略称で、目標 (Objective) と主要な成果指標 (Key Results) を組み合わせた目標管理のフレームワークです。企業やチームが達成したい目標を明確にし、その進捗を数値や具体的な成果で測ることで、組織全体の方向性を合わせることを目的としています。

目的 (Why) : なぜその行動をするのか？
目標 (What) : 何を達成したいのか？
行動 (How) : どのように行動するか？

例：岡田ジャパン

目的 (意義) : 日本サッカーの未来を変える
目標 (成果) : ワールドカップベスト4
行動 : ①楽しんでやる
②自分でやる
③勝つためにベストを尽くす
④目の前の事に集中する
⑤常にチャレンジ
⑥挨拶



【 GM ⑤ 】

あなたの理想の会社とは？

キーワード

・ 仕事の環境や風土、組織の特徴など

・ 同僚や上司との人間関係性

・ 経営方針、ビジョン、方向性

【 GM ⑤ 】

あなたの理想の会社とは？

テーマ

・ あなたが理想とする会社はどんな会社か？

【 GM ⑤ 】

あなたの理想の会社とは？

発表

【 GM ⑤ 】

あなたの理想の会社とは？

・ 会社は人ではありません。

・ 会社はあなたがたが作って築き上げていきます。

・ 進んで考えて自ら行動しましょう。

1日目の総括

『今から数年後、あなたはやったことよりも

やらなかったことに失望する』

研修会にご参加いただき、ありがとうございます。

一般社団法人
全国造機工業協会
Japan Steel Fabricators Association

2025年度 「人づくり研修」

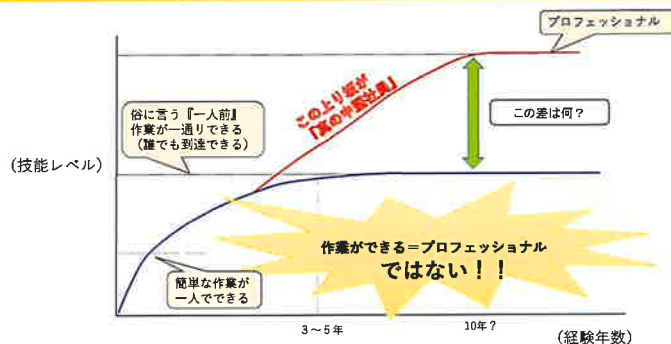
一般社団法人 全国鐵構工業協会

人づくり研修・タイムテーブル

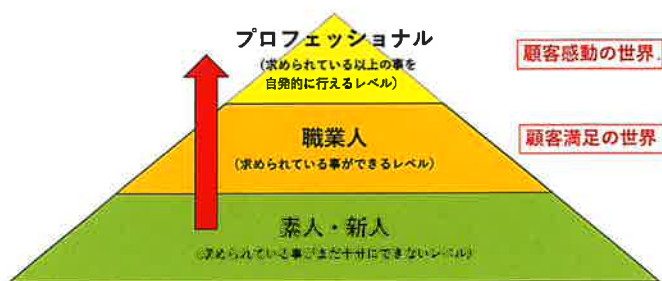
時間	学習内容	時間	学習内容
8:30	■オリエンテーション ・開校紹介 ・昨日の振り返り	12:45	■聴く力を身につける ・聴く力が必要な理由を理解する ・聴く上で必要なスタンスを理解する ・5つの聴くスキルを体得する
9:00	■ビジネスマナーを身につける ・挨拶、言葉遣いの大切さ ・敬語の使い方(尊敬語・謙譲語) ・文庫における敬語 ・クッション言葉	13:55	休憩
10:10	休憩	14:05	■伝える力を身につける ・伝える上で注意すべき点を理解する ・伝えるスキルが必要な理由を理解する ・伝えるスキル実践編(PREP法)
10:20	■利益の仕組みを理解する ・売上、原価、粗利、経費、利益の構造を理解する ・儲けの仕組みを理解する	14:55	休憩
12:00	昼食休憩	15:05	■リーダーシップを学ぶ ・リーダーシップの3原則 ・リーダーに必要な2つの能力 ・リーダーに欠かせない在り方を理解する
		16:15	アンケート記入
		16:30	終了

昨日のふり返り

技能習熟モデル



目標達成への意識の違い



今日一日、
研修への向き合い方で
約束してほしいこと！

それは・・・
チームワーク！！

分かる人は、分からない人を
積極的に助けること！

一人は皆の為に、皆は一人の為に！



§ 1

ビジネスマナー



§ 1 ビジネスマナー

<研修のねらい>

一人前になるには、現場作業ができるだけでなく、社会人として必要なビジネスマナーは、身につけておかねばなりません。ここでは、社会人として正しい言葉の使い方、敬語を見直していきましょう。正しい敬語を皆様は使えますか？

<研修内容>～ビジネスマナー（言葉遣い）～

- ・ビジネスマナー
 - ↳言葉遣いの大切さ
 - ↳正しい敬語をマスターする
 - ↳言葉と文章で異なる敬語



クイズです

下記の表現が正しい場合は○、間違いの場合は×でお答えください。
チームで話し合い、代表者を決めて回答をお願いします！

自分の能力では不十分と伝える為に、
「いえいえ、私には役不足です」と伝えた。

クイズです

下記の表現が正しい場合は○、間違いの場合は×でお答えください。
チームで話し合い、代表者を決めて回答をお願いします！

考えがまとまらず、困っている事を
「煮詰まっている」と伝えた。

クイズです

下記の表現が正しい場合は○、間違いの場合は×でお答えください。
チームで話し合い、代表者を決めて回答をお願いします！

取引先にお願いをする文章を丁寧に表現する為に、
「よろしくお願い致します。」と書いた。

話し合ってみよう 言葉遣いと印象

そもそも言葉遣いを始めたビジネスマナーは、なぜ必要とされているのでしょうか？
また、ビジネスマナーができてると目上の方やお客様(取引先、元請の担当者様)にどのような印象を与えられると思いますか？

ビジネスマナー：2種類の敬語

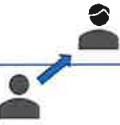
尊敬語（相手を立てる表現：相手の言動について使う）

「尊敬語は、お客様や目上の方を立てる表現」
～目上の方の言葉や行動を立てて言い表す時に用いる～

謙譲語（自分がへり下る表現：自分の言動について使う）

「謙譲語は、自分が腰を低くして相手を立てる表現」
～自分や身内(社内の人)の言葉や行動をへり下って言い表す時に用いる～

ビジネスマナー：敬語の使い方

尊敬語 (相手が主語)	意味	相手の言動を立てることにより、相手に敬意を表す表現 (目上の方やお客様の言動に用いる)	
	例	おっしゃる。ご覧になる。召し上がる。	
謙譲語 (自分が主語) (身内も主語)	意味	自分がへりくだることによって、相手に敬意を表す表現 (目上の方やお客様に対して自分の言動に用いる)	
	例	申し上げます。拝見する。頂戴する。	

敬語の使い方

	尊敬語(相手の言動)	謙譲語(自分・身内の言動)
言う	おっしゃる	申す・申し上げる
聞く	お聞きになる・聞かれる	うかがう・拝聴する
会う	お会いになる	お目にかかる
行く	行かれる・いらっしゃる	参る・うかがう
来る	おいでになる・お越しになる	参る・うかがう
いる	いらっしゃる	おる
見る	ご覧になる	拝見する
する	なさる・される	いたす
思う	思われる・お思いになる	存じる・拝察する
食べる	召し上がる・おあがりになる	いただく・頂戴する
知る	ご存じ	存じる・存じ上げる
読む	お読みになる・読まれる	拝読する

問題を解いてみよう。

回答できたらテーブルごとに
確認しましょう！

敬語テスト

1～10の下記表現を読んで、正しい方に○を、間違っている方に×をつけて下さい。		
1	お手元の資料を拝見してください。	お手元の資料をご覧ください。
2	弊社の担当者にお会いになりましたか？	弊社の担当者にお目にかかりましたか？
3	こちらを拝聴されますか？	こちらをお聞きになりますか？
4	先日の件、お伺いになっていらっしゃいますか？	先日の件、お聞きになっていらっしゃいますか？
5	温かいうちに頂いてください。	温かいうちにお召し上がりください。
6	承知しました。上司にお伺いします。	承知しました。上司に確認いたします。
7	お客様が参られました。	お客様がいらっしゃいました。
8	こちらを拝読されますか？	こちらをお読みになりますか？
9	お客様は、土曜日にいかがになりますか？	お客様は、土曜日においでになりますか？
10	お客様がそのように申されました。	お客様がそのようにおっしゃいました。

言葉遣いテスト：正しい敬語に直しましょう

① はい、わかりました。上司に聞いてみます。

② お客様、今調べます。時間はいいですか？

③ よろしければ、こちらを拝見になってお待ちください。

④ すみません。急いで調べてお電話します。

敬語の使い方の基本：まとめ

敬語を使いこなすためのコツは **4つ**

1. 相手の行動を言い表す時には**尊敬語**を使う
2. 自分や身内の行動を言い表す時には**謙譲語**を使う
「社外」の人に社内の人のことを話すときは**謙譲語**（弊社の山田が）
3. ビジネスの場では「です」「ます」「ございます」の丁寧語を使う
4. 丁寧語は、動詞や名詞に「お」「ご」をつける（お招き、ご自宅）
*丁寧語のうち、「お」や「ご」をつける対象が名詞の場合は、美化語となる

敬語の使い方 基本

37

敬語の使い方：その他

Point 尊敬語と謙譲語の使い分け（言葉と文書での違い）

	尊敬語	謙譲語
会社	御社（口頭）	弊社（口頭）
会社	〇〇社（文書）	弊社（文書）
誰	どなた様・どちら様	どの者
僕・私	〇〇様	わたくし
私たち	皆様・皆様方	わたくしども

敬語の使い方 その他

38

敬語の使い方：その他

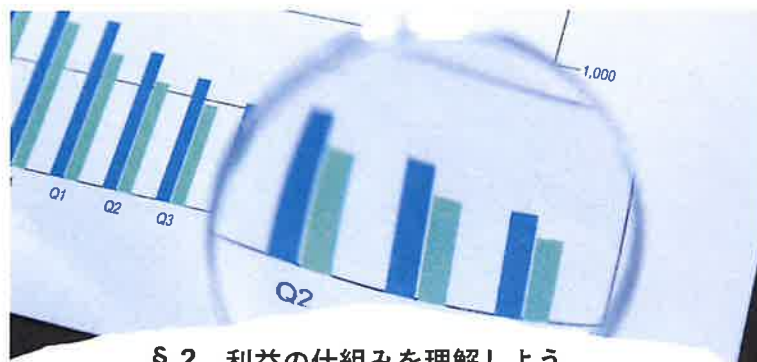
Point クッション言葉

自分の依頼をストレートに伝える前に相手を思いやる一言を付け加える、その前置きの表現のことをクッション言葉という。**表現が柔らかくなる。**

依頼するとき	恐れ入りますが・お手数ではございますが・よろしければ・恐縮ではございますが・ご都合がよろしければ・お時間がございましたら・ご多忙かと存じますが
尋ねるとき	恐れ入りますが・差し支えなければ・少々お尋ねしたいのですが
断るとき	せっかくではございますが・あいにく・残念ながら・勝手ではございますが・ありがたいのですが・申し訳ございませんが
感謝するとき	ご丁寧に・おかげさまで

敬語の使い方 その他

39



§ 2 利益の仕組みを理解しよう

【売上・原価・粗利・費用・利益】

利益の仕組み

40

§ 2 利益の仕組み

<研修のねらい>

一人前の中堅社員ともなれば、売上、原価、粗利、費用、利益の違いについてしっかりと理解しておかなければなりません。また、何が利益につながるのかを理解しておかなければなりません。忙しければ儲かるわけではありません。その答えを見つけていきましょう。

<研修内容>～利益の仕組み～

- ・利益はどのように生み出されるか？
↳ 売上、原価、粗利、費用、利益について理解する
- ・忙しければ儲かるのか？利益ってなんだろう？
- ・どうすれば儲かるのかを考えよう



利益の仕組み

41



「そば屋」

一般社団法人 全国総務工務協会

42



売価400円 原価100円 (材料費：麺70円+つゆ30円)

問題：1杯売るといくら儲かる？

答え：1杯売ると300円儲かる！

一般社団法人 全国製麺工業協会

25



売価 400円	原価 100円
	粗利 300円

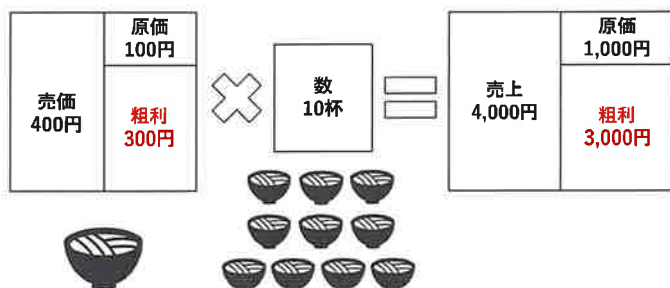
*売上から原価を引いたものを粗利と言います。

「売価400円、原価100円のそば。
1杯売れると300円儲かる」

一般社団法人 全国製麺工業協会

26

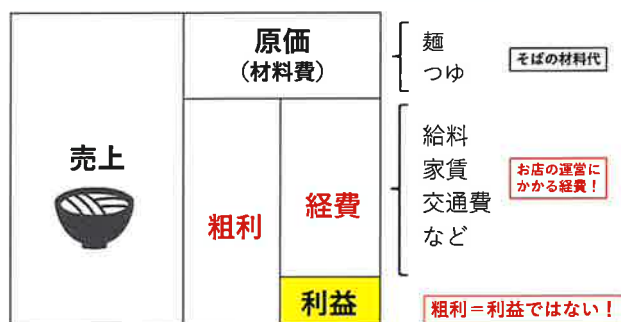
10杯売った時の儲け



一般社団法人 全国製麺工業協会

27

Point! 材料費以外にかかる費用がある



一般社団法人 全国製麺工業協会

28

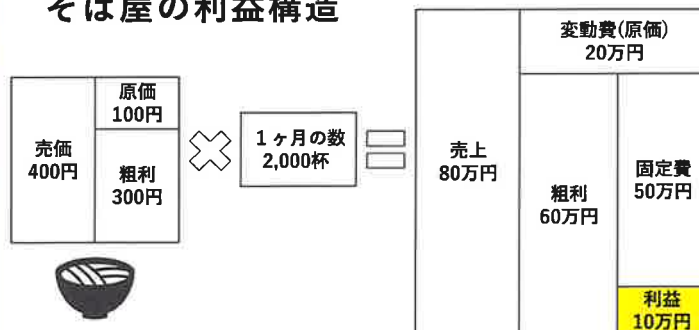
売上で変動する費用と固定でかかる費用



一般社団法人 全国製麺工業協会

29

そば屋の利益構造



一般社団法人 全国製麺工業協会

30

50円値引きしたが1ヶ月の販売数量が変わらなかった場合利益がいくらになるか計算してみましょう。(固定費は変わりません)

売価 400円 350円	原価 100円
粗利 _____円	

× 1ヶ月の数
2,000杯

=

売上 _____万円	変動費(原価) _____万円	粗利 _____万円	固定費 50万円	利益 _____万円
---------------	--------------------	---------------	-------------	---------------

一般社団法人 全国鉄構工業協会

31

50円値上げしたが1ヶ月の販売数量が変わらなかった場合利益がいくらになるか計算してみましょう。(固定費は変わりません)

売価 400円 450円	原価 100円
粗利 _____円	

× 1ヶ月の数
2,000杯

=

売上 _____万円	変動費(原価) _____万円	粗利 _____万円	固定費 50万円	利益 _____万円
---------------	--------------------	---------------	-------------	---------------

一般社団法人 全国鉄構工業協会

32

利益に関わる4つの要因

- ① 売価を **上げる** ↗
- ② 数量を **増やす** ↗
- ③ 変動費(原価：材料費等)を **下げる** ↘
- ④ 固定費(お店の運営経費)を **下げる** ↘

一般社団法人 全国鉄構工業協会

33

話し合ってみよう

そば屋がもっと利益を上げる為には何をすればよいのでしょうか？
どのようにして単価を上げ、数量を増やし、原価を下げ、固定費を下げれば良いか？
話し合ってみよう。

一般社団法人 全国鉄構工業協会

34

鉄工所における変動費 (売上によって変動するもの)は何でしょう？

鉄工所に置き換えてみよう

一般社団法人 全国鉄構工業協会

35

一般社団法人 全国鉄構工業協会

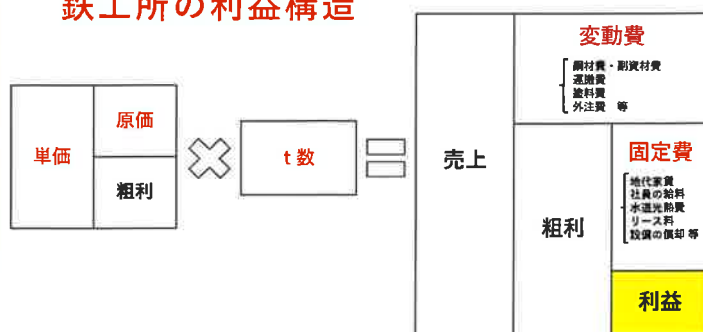
36

鉄工所における固定費 (売上に関係なく必要なもの)は何でしょう？

鉄工所 経営者 研修 資料

37

鉄工所の利益構造



一般社団法人 全国鍛造工業協会

38

利益を上げる為に自分達ができることは？

利益を増やす為にできそうな事は何か？を話し合ってみよう。
テーブルごとに発表していただきます！

鉄工所 経営者 研修 資料

39

利益感度

利益への影響度を利益感度と言います。また、利益に関わる4つの要因のうち、利益に大きく影響する順番があります。

- ①単価(売価)
- ②数量
- ③変動費(材料費、運搬費、塗装費、外注費等)
- ④固定費(人件費、事務所経費、利子、戦略費、減価償却費)

①～④が、どのような順番になる傾向があると思いますか？

鉄工所 経営者 研修 資料

40

製造業では・・・

①単価 > ②数量 > ③変動費(材料等) > ④固定費(会社の経費)

という順番になりやすい傾向があります。つまり、**単価の高い工事を受注する**(難しい物件が多い為、**技術力を磨いていく必要がある**)か、**多くの量を製造・販売できる**(**効率の良い仕事**ができないといけない)かが利益に大きく影響すると共に、やり直し等の無駄、光熱費等、事務所費用の無駄を減らす努力が重要になってくると言えます。

鉄工所 経営者 研修 資料

41

§ 3

聴く力を
身につける



鉄工所 経営者 研修 資料

42

§ 3 聴く力

<研修のねらい>
リーダーシップの本質である「信頼」を仲間から得るためには、皆が言いたいことをまずは聴く必要があります。話を真剣に聴く事で、「自分は大切にされている」と話し手に感じてもらえ、信頼感につながっていきます。仲間から信頼を得られるリーダーに必要な「聴くスキル」を体系的に学んでいただきます。

<研修内容>

- ・聴く力を身につける目的（聴く力が必要な理由）
 - ↳ 仲間に好意を持ってもらい協力関係を築く
 - ↳ 良いサイクルを回す
- ・聴く上で必要なスタンス
 - ↳ 共に働く仲間への関心
- ・5つの聴くスキル
 - ↳ 体で聴く/表情で聴く/口で聴く(相づち)
 - ↳ オウム返し/ミラーリング



聴く目的・ゴール

目的 “聴く力”が必要とされる理由

聴く目的は、部下の悩みに関心を持ち、支援する姿勢を示すことで信頼を獲得し、お互いの **b) 協力関係** を強固にしていく為である。

まず、**部下の話に真剣に耳を傾ける**。すると、**部下は自分が大切にされたと感じ**、相手に好意を持つ。そして、その結果、お互いがより力を発揮するための下地ができるのである。逆に、自分が相手の話を真剣に聴かないと、いずれ、相手も自分の話を真剣に聴かなくなってしまうことを肝に銘じよう。

聴く力を身につける目的



「相手の話を真剣に聴くこと」は、仲間との信頼関係を築く上で非常に重要である。これが不十分であると、いくら部下を褒めたり叱ったりしても効果が薄い。その意味で、「聴く力」は、リーダーとして必須のスキルである。

聴く上で必要なスタンス

スタンス 後輩に関心を持つ

人間は「関心を持って欲しい」、「無視されたくない」という強力な欲求を持っている。「自分がしっかり働けば、関心を持ってもらえる」ということが分かるとやる気が増す。逆に「しっかり働いているのに、無視され相手にされていない」と感じると、やる気が減退してしまうだけではなく、怒りの感情が芽生えてくることもある。

したがって、上司は部下の過去や現在の状況に関心を持つことが必要である。部下は上司が思っている以上に、自分のことを話すことについて遠慮している場合が多い。上司から積極的に部下に働きかけるようにしよう。

聴く上で必要なスタンス

action	共に働く仲間や後輩について以下の情報を知っているかどうか？ ○、△、×をつけてみよう。 知っていること○(1点)、いくらか知っていること△(0.5点)、知らないものには×(0点)		
	()	()	()
1 入社(転職)した動機			
2 どこから通勤しているか			
3 出身地			
4 仕事上で好きなこと・得意なこと・楽しいこと			
5 仕事上で苦手なこと・ストレスになっていること			
6 やる気の源（動機の源泉）になっていること			
7 健康状態（持病の有無など）要・配慮			
8 本人の誕生日			
9 家族構成や家庭のこと（概略）			
10 趣味や好きなこと			
	/10	/10	/10

話し合ってみよう

後輩や仲間のことをどれくらい知ってましたか？ 関心を持っていますか？

傾聴の意味を理解する

～「聞く」と「聴く」の違い～

聞くとは聴くの違い

スタンス “聞く”と“聴く”の違い

「聞く」には「聞く」と「聴く」の2つの表し方がある。漢字の構成を見て分かるように次のような違いがある。

「聞く」は、耳で聞くという機能的な行為で、単に話が聞こえているだけの状態を指す。一方、「聴く」は、部下の動作（例えば、声の調子、表情、目の動き、身振り）や発言から、部下の気持ちを受け止め、理解しようと努めることを指す。

つまり、「聴く」とは、**c) 消極的** な行為ではなく、相手の感情（思っていること）、意見（伝えようとしていること）を「分かってほしい」と発信しようとする **d) 積極的** な行為であるということが出来る。このような行為を **e) 積極的傾聴法（アクティブリスニング）** と呼ぶ。

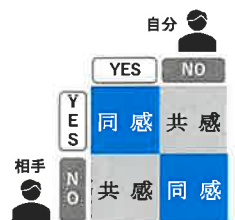
1) 共感的理解

スタンス “同感”と“共感”の違い（共感的に聴くこととは）

部下の考えに対する理解の仕方は2通りある。“同感”と“共感”である。同感とは、自分も部下も同じ意見で一致しており、お互いに同じ想いを抱くことを言う。一方“共感”とは、部下の考えがたとえ自分と違っていても、その気持ちを分かろうと努める姿勢である。

（なぜ部下がそのような考えを持つに至ったか、その気持ちをまずは分かろうとすることが大事。「正そうとする前に分かろうとせよ」）

人はそれぞれ違う価値観を持っており、意見が異なる場合が多い。そのときこそ必要となるのが“共感”である。価値観が違うことを認めつつ、理解し合おうとする姿勢が重要である。



3) 自己一致

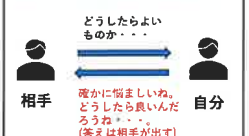
スタンス 正直な態度であれ！（裏腹な態度は不信感を招くだけ）

部下から相談を受けると、上司として解決してあげなければ・・・とか、上司として何か良いアドバイスができなければ・・・など、何か役立つ事を返さねばと固くなる事はないですか？

リーダーやコンサルタントとして、仕事で判断を求められる時であれば分かりますが、個人的な悩みを聞く場合においては、素直な自分である事が大切です。

裏腹であると相手はそれを見抜いてしまい、信頼を失いかねません。自分の気持ちに正直、誠実な聞き手の反応に話し手は信頼を覚えます。また、素直で正直なリアクションから、話し手は気づきを得ていくのです。

分からない事は分からないで良い
（上司として何か言わねば！！と焦ってしまい、それらしい事を言ってみても、役には立たない。分からない事は分からないでよく、一緒に考えようといえれば良い）



傾聴スキルの3原則

1) 共感的理解

相手の立場に立ち、相手の置かれている状況を想像して理解に努める

2) 無条件の肯定的関心（ノー ジャッジメント）

自分の考えや先入観を一旦脇に置いて、まっさらな状態で聴くこと

3) 自己一致

素直・正直な態度で表裏がないこと、裏腹ではない態度でいること

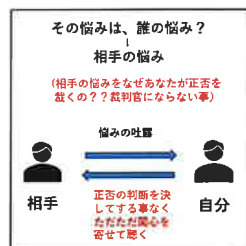
2) 無条件の肯定的関心

スタンス 相手の悩みを自分の価値観でジャッジしない！

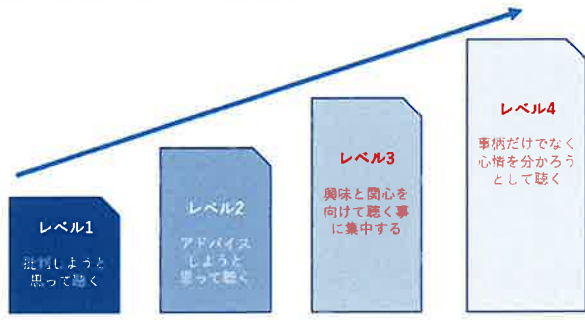
人の話を聞いている時に、思わず、それは違うんじゃない？とか、その考え方はおかしい！と思うことはないだろうか？その時点で相手の話を自分の思考のフィルターを通してジャッジしています。

リーダーやコンサルタントとして、仕事で判断を求められる時には、そうしなければなりません。人の悩みを聞く時にそれをしてはなりません。

個人の問題は、その人自身でしか解決できないのです。話を聴く側が解決するものではありません。また、人の悩みに寄り添う事は、相手の気持ちの理解に努める事であり、正否を判断することではありません。



話の聴き方 4つのレベル



話し合ってみよう

どれだけ部下や後輩の気持ちに焦点を当てて聴けていますか？
起きた事柄だけを聞いていませんか？

§ 3

5つの聴く姿勢を身につける

聴く スキル①

聴くスキル①

体で聴く

「真剣に部下の話を聴いている」という事を示す為には、まず、a) **体** で表現を
する必要がある。たとえ一生懸命聴いているつもりでも、全く別の方向を向いていたり、
ふんぞり返っていたりすれば、相手は自分の話が b) **軽視** されていると感じ、
心を閉ざしてしまうだろう。

point ▶▶ 「位置関係」と「姿勢」によって相手に与える印象が異なるため、使い分ける必要がある

聴く スキル①

	c) 親和 の空間 横45度	緊張 の空間 正面	恐怖 の空間 上・後ろ
位置関係			
	親近感が生まれる	緊張感が生まれる	恐怖感が生まれる
悪い事例	×体を相手に向けない ×作業をしながら ×ふんぞりかえる ×貧乏ゆすりをする ×頭の後ろで手を組む、肘を付く、腕組みをする ×足組みをする		
良い事例	○相手に体を向ける ○作業をやめる ○前傾姿勢をとる ○落ち着いて座る ○手はひざの上に置く ○足を揃える		

聴く スキル②

聴くスキル②

表情で聴く

人は話すときに相手のどこを見て話すか？それは、相手の a) **顔や表情** である。
相手の表情を元に、「自分の話を真剣に聴いているかどうか」、「どのように受け止めているか」を判断して、話を進めていく。したがって、「部下の話をしっかりと聴いている」ということを伝えるためには、部下の話を促すような表情づくりが重要となるのである。

“表情”を使って、部下の話に興味を持っていることを表現するためには、次のような方法がある。

聴く スキル②

point ▶▶ **相手の目を見る**
「目は口ほどにものを言う」と言われるように、真剣に話を聴こうとしているかどうかは目の動きに表れる。真剣に語り掛けているのに、下を向いていたり、全く別の方向を向いていたりしては、部下に嫌な印象を与えてしまう。

point ▶▶ **相手の感情に合わせる**
部下が考えていることを理解しようと努め、それに合わせた表情づくりをすることで、「私はあなたの言うことを理解しようとしている」という共感の意を示すことができる。

悪い事例

- ×目をそらす
- ×楽しい話を暗い表情で聴く
- ×真剣な話をふざけて聴く
- ×悲しい話を笑顔で聴く
- ×エキサイティングな話を冷静に聴く

良い事例

- 目を見る
- 楽しい話を楽しい表情で聴く
- 真剣な話を真剣な表情で聴く
- 悲しい話を悲しい表情で聴く
- エキサイティングな話を活き活きとした表情で聴く

聴く スキル③

聴くスキル③

口で聴く

コミュニケーションを活性化させるには、**a) リアクション** が重要である。

リアクションによって相手の話に興味関心がある事を示すことで、相手も益々話をしようという気持ちが湧いてくる。また、会話の中で効果的に **b) 相槌** を入れ、相手の話を **c) 促す** ことで、話しやすい雰囲気づくりを実現できる。逆に、無言でスルーしたり、気のない返事をしたりといった、結論を急がす言動は不快な印象を与える。

“口”を使って、相手の気持ちを受け止め、話を促すためには、次のような方法がある。

リアクションの大切さ

相槌・うなずき

- 1) 相手の表情を見ながら
- 2) 相手の話すペースに合わせ
- 3) 相手の感情に合わせた声色で
- 4) 理解を示すように
- 5) できるだけ大きめに



聴く スキル③

point ▶▶ **相槌を打ちながら聴く**

部下の話の切れ目に相槌を入れることで、部下は話を進めやすくなり、また、「興味を持って聴いてくれている」と感じるようになる。“相槌”の工夫には、「同意」、「感嘆」、「疑問」の3つがある。

🔥 キーメッセージ	同意	はい	同意	なるほど	口に出して言ってみよう
	感嘆	へえ!	感嘆	すごいね!	口に出して言ってみよう
	疑問	そう?	疑問	本当?	口に出して言ってみよう

point ▶▶ **促しながら聴く**

部下の話を促しながら聴くことで、「私はあなたの話に興味を持っています」という姿勢を示すことができる。

🔥 キーメッセージ	それで?	例えば?	口に出して言ってみよう
-----------	------	------	-------------

効果的なリアクション

●驚きのリアクション

え〜っ!
すごいな!
マジで!!
本当に!?
そんなことがあったのか!



効果的なリアクション

●共感のリアクション

- 1) 相手の感情がわかれば
“共感の言葉”を伝える。
- 2) 予め、**テンプレート**を準備
楽しいよね、うれしいよね、
悔しいよね、つらいよね、
しんどいよね、不安だよね、
腹立たしいよね、イライラするよね
etc...



聴く スキル④

聴くスキル④

バックトラック

相槌の代表的な手法の一つに、オウムがそのまま復唱するように相手の言ったことを繰り返す

a) **バックトラック** がある。例えば、「昨日とてもつまらなかったよ」と言われたら「つまらなかったのですね」と繰り返す。「最近仕事が行き詰まってつまらないです」と言われたら「つまらないですね」と繰り返す。

人間は、自分の言ったことをそのままオウム返しされることで、じっくり聴いてもらっていると実感でき、安心感が生まれ、話しやすくなる。

聴く スキル④

事例学習

部下が会議への欠席に関して相談してきたとき

部下	課長、今日のミーティングの件でお願いがあるのですが、今よろしいでしょうか？
上司	ああ、いいよ。
部下	実は体調があまり良くないので、代わりに出席をお願いしたいのですが。
上司	今日のミーティングの資料準備は、もう終わっている？
部下	え……っと、もう終わっていますので、その件は大丈夫ですが…。
部下	課長、今日のミーティングの件でお願いがあるのですが、今よろしいでしょうか？
上司	ああ、いいよ。
部下	実は体調があまり良くないので、代わりに出席をお願いしたいのですが。
上司	そうか、体調があまり良くないだね。
部下	はい、X社の件で遅くなり、最近深夜まで残業続きだったので、それが原因かもしれません。
上司	深夜まで残業続きか……。それは大変だったね。
部下	本当にすみません。資料の準備は終わっていますのでよろしくをお願いします。

聴く スキル⑤

聴くスキル⑤

ミラーリング

人間は、同じ仕草を行う人に親近感を抱くと言われている。現に、仲の良い友人同士や恋人同士は、自然と仕草が似通ってくる場合が多い。相手の仕草を鏡で映し出すように真似ることで、相手と同調する状態を作り出す技法が a) **ミラーリング** である。

例えば、「相手が足を組み替えたら、あなたも組み替える」、「相手が頬に手を当てたら、あなたも頬に手を当てる」という具合に、相手と同じ行動をとる事で、意図的に信頼関係を強化することができるのである。

Point ▶▶ ミラーリングを行う視点としては、「仕草」、「話すスピード」、「声の大きさ」の3つが挙げられる。

聴く スキル⑤

悪い事例

- ×相手がコーヒーを飲んでいる→自分はコーヒーを飲まない
- ×相手が大笑きになっている→自分は大げさに笑わない
- ×相手の話すスピードが速い→自分はゆっくり話す
- ×相手が大きな声で話す→自分は小さな声で話す
- ×相手が小さな声で話す→自分は大きな声で話す

良い事例

- 相手がコーヒーを飲んでいる→自分もコーヒーを飲む
- 相手が大笑きになっている→自分も大げさに笑う
- 相手の話すスピードが速い→自分も速く話す
- 相手が大きな声で話す→自分も大きな声で話す
- 相手が小さな声で話す→自分も小さな声で話す

話し合ってみよう

5つのスキルのうち、日頃からやっている聴き方はありましたか？
できていない聴き方があった場合、まずは、何からやってみますか？

§ 4

伝える力を身につける

§4 伝える力

<研修のねらい>

リーダーは、仲間に分かりやすく的確に指示を出せなければなりません。また、先輩や上司が理解しやすいように説明ができればなりません。ここでは、相手に伝える上で注意しなければならない点を学び、その上で実践的な伝え方のスキルについて学びます。

<研修内容>

- ・伝える上で注意すべき点
 - ↳話し手と聞き手には常に情報や着眼点にズレがある事を意識する
- ・伝えるスキルが必要な理由
 - ↳手短に分かりやすく伝えることの重要性
- ・伝えるスキル実践編
 - ↳PREP法の理解
 - ↳PREP法の実践



話し合ってみよう

相手の話が分かりにくい。何を言いたいのかが分からないと感じた経験があるかと思いますが、相手に話が伝わりにくい原因はなんだと思いますか？

伝えるスキル (伝える上で注意すべき点)

Point “話し手”と“聞き手”の間にある深い溝を認識する

常に、話し手と聞き手の間に「a) 持っている情報」や「b) 注目している視点」のズレがあることを理解しよう。「伝えたはずが伝わっていない、あんなに一生懸命伝えたはずなのに…」、「あれだけ言ったのに行動が全く変わらない…」このように、必死で伝えたにも関わらず首をかしげた経験はないだろうか。

「正しいことを言っていれば伝え方は問題ではない」は間違いである。せっかくの良い意見も相手への伝え方次第で、心に響く内容にも雑音にもなり得る。まして、「語らなくても分かる」という甘い考えは通用しないと考えたほうが良い。



伝えるスキル (後輩に対して)

視座(立場)・視点(着眼点)・視野(見えている範囲)の違い

視座 (立場)	相手の立場、着眼点、見えている範囲に合わせて伝えないと伝わらない	視座 (立場)
入社10年目		入社半年
視点 (着眼点)		視点 (着眼点)
QCDの視点 (品質・コスト・納期)		作業の進め方の視点
視野 (見えている範囲)	相手の状況に合わせて伝えることを「思いやり」と言います	視野 (見えている範囲)
製造の流れ全体		教わった範囲のみ

伝えるスキル (上司に報告をする場合)

視座(立場)・視点(着眼点)・視野(見えている範囲)の違い

視座 (立場)	上司は詳細な状況を聞いて判断をしなければならない	視座 (立場)
入社5年目		上司
視点 (着眼点)		視点 (着眼点)
自分の考え・視点 自分が伝えたいこと		指示を出す為の判断材料
視野 (見えている範囲)	報告すべきは、自分の意見や考えではなく、客観的な状況の説明	視野 (見えている範囲)
任されている仕事 属している部署の都合		お客様の感じ方 自社の信用・会社全体

伝えるスキル (伝えるスキルが必要な理由)

目的 “伝える力”が必要とされる理由

伝え方を学ぶ目的は、上司や後輩に伝えなければならない事を a) 手短かに b) 分かりやすく 伝えられるようになる為である。

また、b) 分かりやすく 伝えられるようになる事で、上司は正確に状況を把握することができ、また、後輩は、仕事を早く覚えられるようになるメリットがあります。

伝えるスキル

伝えるスキル① Point(結論)→Reason(理由)→Example(具体例)→Point(結論)

PREP法

手短かに相手に理解しやすいように伝えるには、PREP法を活用することが望ましい。PREP法とは、まず「**結論**」を伝える事で、何を伝えたいのかを明確にし、その次にその結論に至った「**理由**」を説明し、続けて実際に存在する「**事例**」を用いて説明することで相手の理解を助け、だからこそ、こうだと言えるのです最後に再度「**結論**」を伝える方法です。

●まず結論を伝える

キーマッセージ

～について結論から申し上げますと〇〇です。

口に出して
言ってみよう

●理由→具体例

キーマッセージ

その理由は〇〇だからです。
具体的には、〇〇となります。

口に出して
言ってみよう

伝えるスキル

伝えるスキル① PREP法 (結論→理由→具体例→結論)

事例学習

①上司に報告をする場合

× 自分 後輩の山田くんが体調不良らしくて、来週も休むらしいですよ。新人の高橋くんが加わったんですけどまだ戦力にならなくて困ってます。手元として働いてもらいながらなんとかしますが、モチベーションも低いし、時間かかりそうなんですよね。なので、A社の納期を調整してもらいたいです。

○ 自分 P) A社の納期を調整していただけるかのご相談です。R) 理由は、後輩の山田くんが体調不良で来週も欠勤になるからです。E) 具体的には、3日程調整できれば可能です。新人の高橋くんを手元として働いてもらいますが、まだ戦力にはならないので、どうしても時間が必要です。P) よってA社の納期を3日ほど遅延する必要があります。

TRY! PREP法をやってみよう (私の仕事の魅力)

PREP法

★私の仕事の魅力は・・・

- 1) 書いてみる
- 2) テーブル内で1人ずつ順番に発表!

§ 5

リーダーシップを学ぶ

§ 5 リーダーシップを学ぶ

<研修のねらい>

リーダーシップの3原則、並びに、リーダーに必要な不可欠な2つの能力について理解し、今後、自分自身が磨いていかなければならない能力と在り方について学びます。

<研修内容>

・リーダーシップの3原則

- ↳ リーダーシップは資質や才能ではなく「仕事」である
- ↳ リーダーシップは地位や特権ではなく「責任」である
- ↳ リーダーシップは強制的に追従させる事ではなく「信頼」によって人がついてくることを言う

・リーダーに必要な能力と在り方

- ↳ リーダーに必要な2つの能力は、「仕事の能力」と「信頼関係を築く力」
- ↳ リーダーに必要な在り方を身につける
「やってみせ、言って聞かせてさせてみて、褒めてやらねば人は動かじ」



話し合ってみよう

あなたが思う理想のリーダーってどんな人ですか？

◆ リーダーシップの3原則とは？

01

リーダーシップは、
資質や才能ではなく
「仕事」である。

02

リーダーシップは、
地位や特権ではなく
「責任」である。

03

リーダーシップは、
強制的に追従させる
事ではなく「信頼」
によって人がついて
くる事を置く。

話し合ってみよう

自分がリーダーだったら、仲間や後輩から信頼を得る為に何をしますか？

リーダーに必要な2つの能力

リーダーシップ理論 (PM理論)



自身のリーダーシップを評価する

P行動	M行動
1.仕事の進み具合について報告を求める	1.良い雰囲気作りを率先して行っている
2.仕事の量や質について管理している	2.問題が起きたとき部下の意見を求める
3.相談にはその場で回答を示している	3.部下が気軽に話すことができる
4.仕事上の問題点を検討している	4.部下を公平に扱っている
5.専門的・技術的知識を持っている	5.部下の個人的な問題に気を配っている
6.問題が起きたとき臨機応変な対応をする	6.部下を信頼している
7.問題が起きたとき率先して指揮にあたる	7.良い仕事をしたときは認めて褒めている
8.明確な方針を持っている	8.部下を尊重している

話し合ってみよう

自分自身のP行動とM行動の度合いについて感じた事を話し合ってみよう！

Point!
人を育てるということ

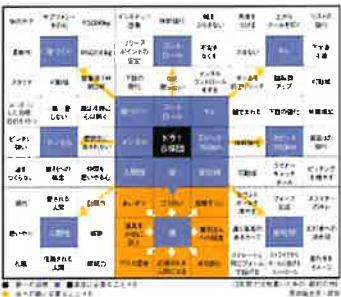
人材育成の原則

- ▶ やってみせ、言って聞かせてさせてみて
褒めてやらねば人は動かじ。
- ▶ 話し合い耳を傾け承認し、任せてやらねば
人は育たず。
- ▶ やっている姿を感謝で見守って、信頼せ
ねば人は実らず。



理想のリーダーになる為に
何から始めるべきか

大谷翔平さんが目標を実現した方法



- 【やり方】
- ①中央に目標を設定(1年後)
 - ②周りに目標を達成するために必要な要素を8つ記入
 - ③その8つの要素を外堀中央に配置
 - ④外堀中央の要素を達成するために必要な要素を8つ記入

*引用 原田隆史氏紹介
大谷翔平さんのマンダラチャート

*2日間の学びを参考に、今後、実行していこうと思うことを8つ記入して下さい。

会社名： 氏名：

	真の中堅社員になる為にこれから実行していくこと	

*記入した当用紙を、社長もしくは上司に提出し、コメントを得た上で所属している支部へfax、もしくはメールにて提出をお願いいたします。なお、提出期限は、本日を含め2週間以内をお願いいたします。

一般社団法人 全国職工連合会

【理25－4－報4】別冊

賛助会員様・全構協 懇談会 資料

2025 年 9 月 16 日

一般社団法人全国鐵構工業協会

賛助会員様・全構協 懇談会 議事次第

(一社)全国鐵構工業協会

場所:鉄鋼会館 801号室

日時:2025年9月16日(火)

15:00~17:00

【冒頭 事務連絡等】

- ・本日のスケジュール
- ・出席者ご紹介(出席者名簿)

1. 全構協 永井会長挨拶

2. 懇談会

(1)全構協の概況、ファブ業界の状況

- ① 足元のファブ業界の動向
- ② 全構協の概況
 - ・鉄骨推定需要量・構成員数
 - ・2025年度事業計画

(2)各地区の概況

- ・各地区の状況、各地区の活動

(3)賛助会員各企業様との意見交換

3. 閉会の辞

【備考】

17:15から、802号室にて懇親会を準備しております。(18:45頃まで)
併せてご出席を、宜しくお願い申し上げます。

2025年度 賛助会員様・全構協 懇談会・懇親会 出席者名簿

<社名50音順>

貴社名(五十音順)		お名前(敬称略)	懇談会	懇親会	備 考
賛助会員様	株式会社アマダマシナリー	関 根 徹 朗	出 席	出 席	
	伊藤忠丸紅住商テクノスチール株式会社	末 廣 浩 司	出 席	出 席	
	岩上鋼材株式会社	唐 川 吾 郎	出 席	出 席	
	エムエム建材株式会社	吉 田 隆	出 席	出 席	
	王子製鉄株式会社		欠 席	欠 席	
	小野建株式会社	小 野 将	出 席	出 席	
	株式会社神戸製鋼所	松 井 和 真	出 席	出 席	
	J F E 建材株式会社	斉 藤 茂	出 席	出 席	
	J F E 商事鉄鋼建材株式会社	小 川 賢 祐	出 席	出 席	
	J F E スチール株式会社	山 下 哲 典	出 席	出 席	
	神鋼ボルト株式会社	楠 瀬 吾 郎	出 席	出 席	
	新東工業株式会社		欠 席	欠 席	
	株式会社スノウチ	新 沼 康 正	出 席	出 席	
	住友生命保険相互会社	吉 田 威	出 席	出 席	
	株式会社セイケイ	宮 花 秀 樹	出 席	出 席	
	大東精機株式会社	植 村 道 治	出 席	出 席	
	大同生命保険株式会社	大 西 太 造	出 席	出 席	
	ダイニッカ株式会社	岡 部 祥 司	出 席	出 席	
	大日本塗料株式会社	二 宗 政 行	出 席	出 席	
	一般社団法人鉄骨建設業協会		欠 席	欠 席	
	株式会社トーネジ	古 藤 和 生	出 席	出 席	
	日鉄エンジニアリング株式会社	鹿 山 嘉 男	出 席	出 席	
	日鉄建材株式会社	栗 田 大 介	出 席	出 席	
	日鉄物産株式会社	山 中 康 平	出 席	出 席	
	日鉄ボルテン株式会社	吉 村 雅 徳	出 席	出 席	
	日鉄溶接工業株式会社	國 本 幸 伸	出 席	出 席	
	一般社団法人日本鋼構造協会		欠 席	欠 席	
	日本製鉄株式会社	新 山 通 世	出 席	出 席	
	日本ファスナー工業株式会社	高 橋 延 行	出 席	出 席	
	一般財団法人日本溶接技術センター	阿 南 睦 章	出 席	出 席	
	一般社団法人日本溶接協会	水 沼 渉	出 席	出 席	
	一般社団法人日本溶融亜鉛鍍金協会	菊 川 美 仁	出 席	出 席	
	阪和興業株式会社	和 田 寛 之	出 席	出 席	
	フルサト工業株式会社	有 本 剛 士	出 席	出 席	
	株式会社丸杉	飯 塚 浩	出 席	出 席	
ご出席人数			31	31	

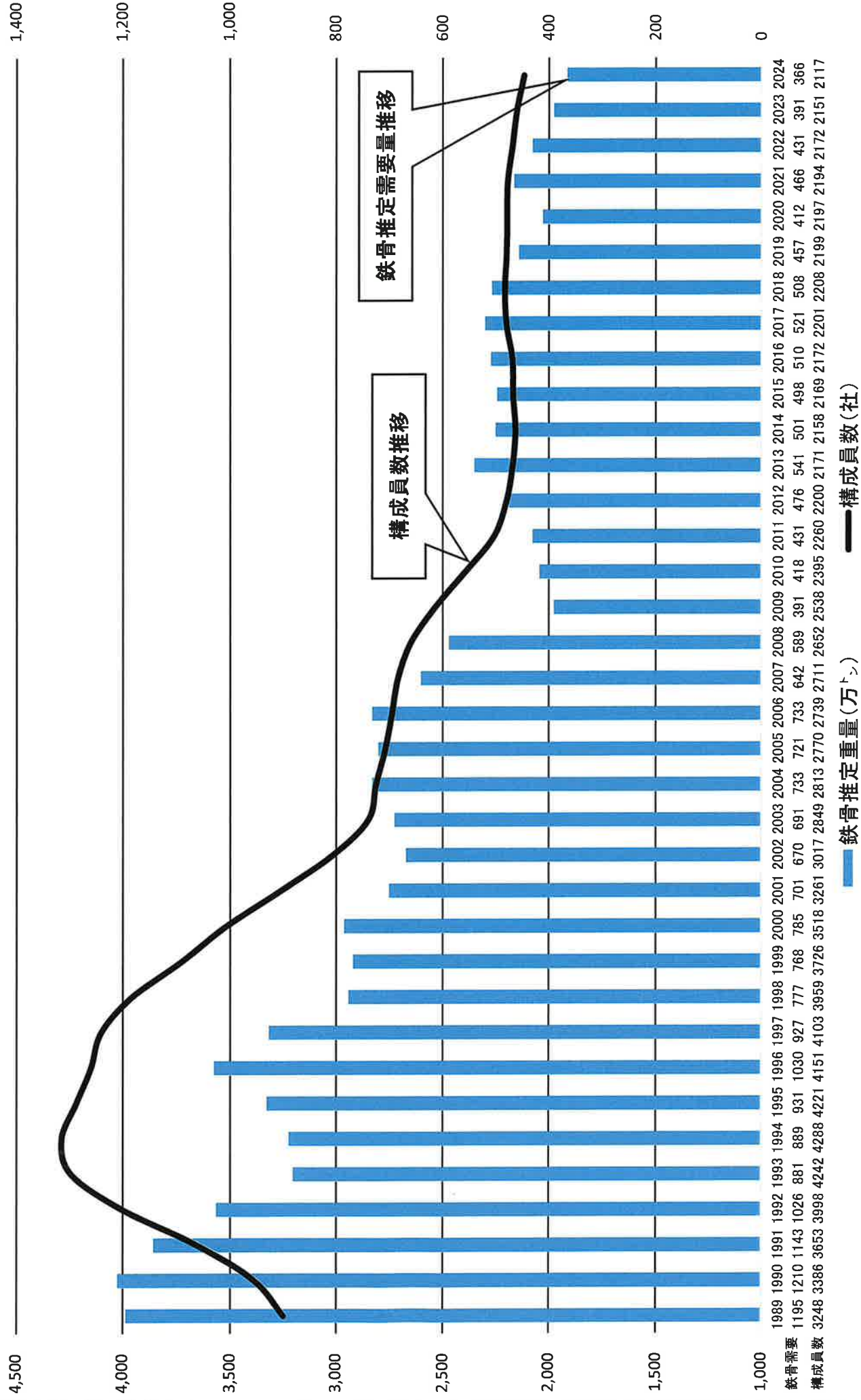
2025年度 賛助会員様・全構協 懇談会・懇親会 出席者名簿

組 織 / 役 職			氏 名		懇談会	懇親会	備 考	
全構協	三 役	会 長	永	井	毅	出 席	出 席	
		副会長	大	竹	良 明	出 席	出 席	
		副会長	板	垣	昌 之	出 席	出 席	
	理 事	専務理事	山	田	安 彦	出 席	出 席	
		北海道支部長	竹	原	慎 雅	出 席	出 席	
		東北支部長	三	浦	隆 宏	出 席	出 席	
		関東支部長	安	達	次 雄	出 席	出 席	
		北陸支部長	前	田	正 美	出 席	出 席	
		中部支部長	稲	垣	法 信	出 席	出 席	
		近畿支部長	佐	野	勝 也	出 席	出 席	
		中国支部長	妹	尾	一 人	出 席	出 席	
		四国支部長	登	尾	昌 弘	出 席	出 席	
		九州支部長	岩	永	洋 尚	出 席	出 席	
		相談役	米	森	昭 夫	出 席	出 席	
	事務局	事務局長	平	井	直 樹	出 席	出 席	
		技術部長	安	藤	慶 治	出 席	出 席	
		技術部部長	齋	藤	航	出 席	出 席	
		総務部長	大	原	弘 光	出 席	出 席	
		総務部部長	滝	本	英 二	出 席	出 席	
		総務部課長	木	村	潤 一	出 席	出 席	
					20	20		

鉄骨推定需要量、構成員数(社)

(万 t / 年)

(社)



2025年度 事業計画

I. 基本方針

現在の世界情勢を俯瞰すると、今も東欧・中東等、各地での紛争は収まる様子はなく、国家単位での保護主義的な動きも顕実化してきた。また、国内外での政権交代による影響もいまだ不透明な状況にある。国内では諸物価高騰、海外からの安価な部材等の流入、地球温暖化などの環境問題の深刻化等、社会にとっての不透明感が増してきている。

2024年度の推計鉄骨需要量は366万トンであり大台の400万トンを2年連続して割り込んだ。2025年度についても、同じ様な水準で推移すると思われ、厳しい状況を予想している。

引き続き中小規模の物件については不安定な状況が継続すると見込まれる一方、着工の遅れが指摘されていた大型物件については今後徐々に回復してくることが期待されているが、鉄骨需要全体としては横ばい傾向が続くものと見られ、当面は厳しい環境が継続すると想定している。

このような厳しい環境が続く中ではあるが、我々の業界は決して慌てる事なく、落ち着いた行動をすべきであると考えている。過去にバブル崩壊やリーマンショック等の厳しい時代を乗り越えてきた諸先輩と、次代を担う中堅層・若年層の方々が固く手を携え、業界として一致団結し、ワンチームとして持てる力を発揮し、また、将来の飛躍のために今は力を蓄えるべき時でもあると考えている。

また、生産性の向上による収益性改善への取り組みを更に強化し、多様かつ継続的な人材の確保と育成を行い、業界としての基礎的体力を身につけ、他方、図面問題に代表される取引上の懸案課題の是正と適正化、品質管理体制の再構築等、事業基盤を強固なものとし、持続的な生産性の向上に結びつけていく。それと併行し、業界として抱えるカーボンニュートラル、S 造化等の諸課題への更なる対応を進めていく。

本年度を『将来の飛躍のために、信念をもって力を蓄える年』とし、協会は以下4点を基軸として事業を進めていくこととした。

1. 品質維持向上のための管理体制強化
2. 人材確保・人材育成
3. 構造変化への対応
4. 業界の将来像を見据えた取り組み

1. 品質維持向上のための管理体制強化

品質管理体制を維持強化していくことは我々の継続的な発展のために欠かすことのできない重要な取組みであり、鉄骨品質への信頼は、我々が一貫して取り組んできた継続的な活動の成果である。この信頼を守り抜き、社会基盤を支える責務を果たすため、社会情勢の変化に柔軟に対応して関連業界を含めた品質管理体制の維持強化を進めるとともに、品質の向上に努めていく。

2. 人材確保・人材育成

我々の貢献が広く社会に認知され、社会から選ばれる業界へと発展を遂げていくためには、人材の確保と育成は不可欠である。生産性の向上により収益性を改善し、持続的な生産性向上への好循環を実現するために、多様な人材の確保と継続的な人材の育成について今後とも協会は施策内容の一層の充実を図り、将来の飛躍のために力を蓄えていく。

3. 構造変化への対応

社会構造がめまぐるしく変化している中、我々は昨年引き続き本年も状況に合わせて迅速的確に構造変化に対応をしていく必要があると考えており、それらの対応に重点的に取り組んでいく。

4. 業界の将来像を見据えた取組み

足元の課題に着実に対応するとともに、業界の将来像を的確に見据え、迅速に対応していくことが、益々重要になってきている。

世界共通の長期目標であるカーボンニュートラルへの取組みや産業活動を下支えするデジタル化やBIM 活用・データ連携等の動向、新しい産業構造や新技術にも対応できるよう、柔軟な行動力を備えておくことが必要である。これらの中期課題に具体的かつ柔軟に取り組む、将来を見据えたビジョンの実現に向けた活動を行っていく。

Ⅱ. 個 別 事 業

1. 会員共益事業

(1) 図面問題への対応

昨年春に要望書提出から始まった図面問題への対応については、対等な立場で交渉できるよう、取り決めごとを明文化した統一書式を作成し、今春から実務レベルで本格的に動き出している。全構成員が一致団結し、同じ行動をとることで力を発揮することができると思う。各地域と連携し、更なる充実・徹底を図っていく。

(2) 輸入鉄骨への対応

今後のサプライチェーンへの影響が懸念されている輸入鉄骨に代表されるグローバルな需給構造の変化等、様々な変化に対しても柔軟かつ迅速に対応するために、各関係先と連携して対応策を検討していく。

(3) 特定技能外国人材

深刻化する人手不足への対応施策である特定技能外国人材の制度活用について、各関係先の協力のもと経済産業省と協議を重ねていたが、2024年3月「鉄骨製造業」が特定技能外国人材の受入れ対象分野として正式に認められた。更に、2024年9月からは受入れ手続きも可能となり、制度運用が本格的にスタートすることとなった。

今後は、外国人材の適切かつ円滑な受入実現に向けて、経済産業省が主導して設立する制度運営を担う民間組織への参画等を通じて、受入事業者である鉄骨製作場のニーズの収集と制度運営上の課題について発信を行い、持続的な制度運営に資する活動を進める。

(4) 働きやすい職場づくり

鉄骨製造業のイメージの向上を図り人材を確保していくために、働きやすい職場づくりの基準を策定する。職場の設備面だけでなく、福利厚生等の諸制度、事業活動等においても指標を策定し、それらを業界内に浸透させていく。本指標に基づき自社のレベルを把握し、具体的な改善に取り組むことにより、職場環境の改善、仕事のやりがい向上に繋げていく。この取組みを粘り強く継続し、我々が魅力ある業界となることで、安定的な人材の確保と定着を目指していく。

(5) 人材確保

我々が社会から選ばれる業界へと一層の発展を遂げていくためには、この業界で働く人々の仕事が、いかに社会の安心と安全に役立っているかということについて、理解と認知を深めていくことが重要である。

その一助とすべく、我々の業界の仕事内容と女性活躍状況等を紹介する『鉄骨人物讃歌』等の既存の映像コンテンツに加え、熊本城再生の物語『誇りは「鉄」で蘇る〜熊本城再生の物語』をホームページに公開した。これら業界の理解を深める映像コン

テニスを効果的に活用し、業界の認知度向上に繋げていく。

(6) 業界動向調査の推進

各位のご協力により2024年度業界動向調査の回答率は、73.7%（2023年度は50%弱）となっており、調査結果は業界の実状を説明・説得する際の強力なエビデンスとなってきている。特に、特定技能外国人材等、国の諸施策への対応を進める中で大きな役割を果たした。

一方、我々自身が業界の実態を知るうえでも大きな力となっており、前述の輸入鉄骨・人材確保への対応においても、業界実態が俯瞰できる本調査のデータは不可欠であり、今後その重要性は一層大きくなると思われる。

本調査を更に充実させながら、業界課題の発信強化に取り組んでいく。

(7) 人材育成

2023年度は『次世代経営研修』を全 9 支部で開催し、幹部経営層に求められる広範なスキルに対応した教育を行い、翌2024年度には中堅若手社員層の更なる成長を促し将来のリーダーを育成するため、全支部で『人づくり研修』として学びと交流の場を提供してきた。

本年度は、改めて運営委員会を中心に更に幅の広いゾーンを対象とした人材育成体系のあるべき姿を再精査し、将来にわたって普遍的かつ効果的な人材育成メニューとして成案を得た後に、新たな提案を行うこととする。

(8) 青年部の活動支援

①全青会との連携強化

全青会と全構協との連携と組織の在り方について、引き続き精力的に協議し、効果的な連携のあり方を再構築していく。

特に本年度については、予算管理を含めての全青会の事業のあり方など、より具体的な検討を、速いペースで進めていく。

②青年部への助成制度

各都道府県青年部への助成金給付については、例年40都道府県程度が本制度を活用しており、青年部活動への支援として定着している。

2025年度においても、本制度の積極的な活用を各青年部に啓発していく。

2. 共済事業

(1) 基本方針

共済事業に関する課題整理と検討については、昨年度から運営委員会が担務し検討を続けている。特に生命共済については、現行制度の棚卸しを行ったうえで、改めて各構成員が系統的に制度を理解できるよう、再度、周知促進を行う計画で進めている。他事業も含めて、事業の有効性を再検証したうえで、効率的な運営を図っていく。

(2) 個別事業

①生命共済の推進について

保有契約高310億円を目標とする。

②指定塗料の販売推進について

前年販売缶数29万缶を目標とする。

③鋸刃の販売推進について

前年売上高1.5億円を目標とする。

④損害保険の取組みについて

昨年度から各支部において、再度周知を図っており、実績についても伸びている状況である。生命共済同様、各構成員が系統的に制度を理解できるよう、周知促進に引き続き取り組む。

3. 技術開発・普及事業

(1) 技術開発関連

①鉄骨技術に関わる改善・開発・人材育成のための助成制度（旧称；鉄骨技術研究開発助成制度）の活用促進と円滑な運用

- ・より身近な改善テーマも広く拾い上げられるように、助成の対象を研究開発に限定せず、鉄骨製作の「品質」「生産性」「作業性」「安全」などに関わる改善・開発及び鉄骨製作に関わる技術者・技能者の育成や技術の伝承まで広げる。
- ・本制度の趣旨、目的及び制度名称と助成対象の変更点についてホームページや協会会誌を通して周知を図る。
- ・本制度の全構協実施型として採択された以下の案件について、技術委員会にて学識者の協力を得て研究成果をとりまとめ、ホームページ等に公開する。

テーマ	提案者
溶接の入熱・パス間温度の管理方法について (標準積層図の改訂へ向けて)	東京鉄構工業協同組合

②鉄骨製作に係る生産性向上及びS造化推進に向けた検討

- ・技術委員会にて、「機械メーカー等との連携による生産性向上施策」について生産性向上に関わるニーズを調べ、必要に応じて関係先にヒアリングを行う。
- ・鋼材は材料的な経年劣化が遅いので構造寿命は長く、解体された鋼材は繰り返し再生され使い続けられるので、鉄骨造建築は優れた環境性能を持っている。「S造化の推進」について、鉄骨造建築の優位性や環境性能に関わる情報収集を鉄連との連携を中心に進めていく。

③デジタル技術の活用による鉄骨製作業務の効率化、改善の推進

- ・BIMの利活用やBIMデータ連携に関して日建連との連携・WGへの参画を通して情報を収集し、ファブサイドからの意見を発信する。
- ・協会活動を通して各種デジタル化ツールを整備し、協会会員向けホームページ

に公開している。今後も本ツールの活用の支援を行い、必要に応じて改善及び新たなツールの追加を行う。

④関連団体との連携・協働及び委員派遣

- ・ JASS 6 及び関連指針の次期改定に向け、技術委員会では構成員からの意見・要望を集約し、構成員全体にとって利益となることを念頭に項目を選定し、全構協としての要望案を作成した。理事会への報告後、要望案を日本建築学会（鉄骨工事運営委員会）へ提出している。今後、学会からの要請に逐次適切な対応を図っていく。
- ・ 各支部・各県では設計者団体や元請団体等の外部団体との意見交換会を実施している。意見交換会で取り扱うテーマの中には各支部・各県単位での開催では解決の糸口が見えないものもあることから、各支部の意見交換会の実態を調べたうえで外部団体の中央組織との意見交換に関する検討を行う。
- ・ 関連団体からの要請に応じて、技術的事項を取り扱う各種委員会に全構協鉄骨技術アドバイザー及び技術部員を派遣する。

(2) 品質管理体制の強化

- ・ 大臣認定工場の信頼性維持・向上を目的として、大臣認定を取得している全構成員に対して、工場審査時の品質管理体制の維持状況及び技術者・技能者の資格有効の期限を含めた一覧表の整備を確認する。また、品質管理体制に不備が生じないように、管理者の届出が適正に行われるように周知徹底していく。
- ・ 品質管理責任者講習制度の実施に伴い、品質管理責任者の能力向上のための講習会に全認定工場の対象者が受講できるよう参加を推進し、講習費の全額助成（1事業者1名）を行う。
- ・ 一次加工は、鉄骨骨組の安全性に関わる重要な工程であり、特に接合部の品質管理については溶接やボルト接合の品質に直結する最も重要な管理項目である。製作実態を把握したうえで、一次加工の品質管理への対応について検討する。

(3) 技術者・技能者の技術力強化支援

①NDI-UT（レベル1）資格を取得するための講習会開催支援

- ・ 非破壊検査協会が認証するNDI-UT（レベル1）資格取得を目的として、受験申請に必要なカリキュラム（40時間）を満たす「基礎講座講習会」及び実技試験受験者を対象に行う「実技試験対策講習会」の開催について、日程・講師調整、使用教材、テキスト発注等について支援する。

(4) 鉄骨製作工場への技術支援・指導

①技術・品質サポート制度の推進

- ・ 鉄骨製作工場の認定取得の推進、及び認定工場の技術・品質の向上を目的として、県組合が行うサポート活動を支援する。

〔実施予定工場数：全国380工場〕

②安全衛生活動の支援

- ・ 今後予想される安全衛生関連法令の改正に備え、構成員が事前準備できるよう、協会ホームページ等を活用して鉄骨製作に使用される対象化学物質等の関連情報の周知に努める。

③高規格材鉄骨製作支援制度の継続

- ・ 高規格材適用鉄骨の需要に円滑に対応するため、十分な技術力と品質管理能力を有する工場を適合工場として認定する高規格材鉄骨製作支援制度の円滑な運用に努める。〔2024年度末の認定工場数：18〕

④技術関連ホームページの充実

- ・ 鉄骨製作工場を選定する際に必要となる情報として、工場規模や加工能力などをホームページに開示しており、引き続き最新情報の提供に努める。
- ・ 会員専用ホームページを活用して、各種技術情報を提供する。

4. 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者養成事業

（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の資格取得を支援する講習会を鉄骨建設業協会と共同で開催する。

(1) 新規（実技試験のための実技講習会）

※（ ）内数字は、2024年度実績（以下同様）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2025年8月～12月	2025年9月～11月
実施地	8会場（札幌、仙台、川崎、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	4会場（川崎、名古屋、大阪、福岡）
予定者数	1,052（1,002）名	258（272）名

(2) 更新（実技試験のための更新講習会）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2025年7月～11月	2025年8月～11月
実施地	7会場（仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	5会場（仙台、川崎、名古屋、大阪、福岡）
予定者数	582（688）名	300（286）名

(3) 教育委員会講師の育成及び講習会実施方法の検討

- ・ 実技講習会において講師の担い手が不足しており、新たな講師を育成することが課題となっており、2025年度は協会構成員および他団体の協力を得て、建築鉄骨製品検査と建築鉄骨超音波検査の教育委員会委員をそれぞれ1名補強する。引き続き新たな人材の確保、教育委員への抜擢も視野に入れた教育事業の中核を担う人材の育成の取組みを強化する。

- ・講習会で使用する試験体の経年劣化に対応すべく、試験体の一部を新規に製作する。

5. 鉄骨技術者教育センターの事業支援

鉄骨製作の技術者を育成するため（一社）鉄骨技術者教育センターが認定登録する「鉄骨製作管理技術者」の試験立会業務、「建築鉄骨製品検査技術者」及び「建築鉄骨超音波検査技術者」の試験、講習及び登録業務を事務請負するとともに、同センターが行う教育事業等に協力する。

5-1. 鉄骨製作管理技術者関連業務の事務請負

(1) 新規試験

- ・新規の資格取得希望者を対象とした学科試験の当日立会

	1 級	2 級
試 験 日	2025年10月18日（土）	
実 施 地	9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、 大阪、広島、宇多津、福岡）	

5-2. 建築鉄骨（製品・超音波）検査技術者関連業務の事務請負

(1) 新規

- ・新規の資格取得希望者を対象とした学科試験及び実技試験の運営業務

①学科試験

※（ ）内数字は、2024年度実績（以下同様）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
試 験 日	2025年 6 月28日（土）	
実 施 地	8 会場（札幌、仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、広島、福岡）	6 会場（仙台、東京、金沢、 名古屋、大阪、福岡）
予 定 者 数	915 (938) 名	325 (315) 名

②実技試験

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実 施 期 間	2025年 8 月～12月	2025年 9 月～11月
実 施 地	8 会場（札幌、仙台、川崎、金沢、 名古屋、大阪、広島、福岡）	4 会場（川崎、名古屋、 大阪、福岡）
予 定 者 数	1,105 (1,053) 名	320 (282) 名

(2) 継続

- ・ 2026年3月31日で資格取得後5年を経過する者を対象とした継続講習の運営業務（講習動画の配信及びレポートの審査）

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2026年2月	
実施地	オンデマンド	
対象者数	1,212 (1,419) 名	423 (628) 名
予定者数	970 (1,134) 名	368 (543) 名

(3) 更新

- ・ 2026年3月31日で資格取得後10年を経過する者を対象とした資格更新のための更新試験の運営業務

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
実施期間	2025年7月～11月	2025年8月～11月
実施地	7会場（仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡）	5会場（仙台、川崎、名古屋、大阪、福岡）
対象者数	1,196 (1,392) 名	607 (569) 名
予定者数	602 (710) 名	339 (320) 名

(4) 認定登録

- ・ 実技試験及び更新試験の合格者、並びに継続講習修了者で、認定登録を受けた者に対する登録証（2026年4月1日付け）の発行業務

	建築鉄骨製品検査技術者	建築鉄骨超音波検査技術者
新規	652 (629) 名	234 (206) 名
継続	970 (1,134) 名	368 (543) 名
更新	584 (690) 名	319 (301) 名
合計	2,206 (2,453) 名	921 (1,050) 名

6. 鉄骨製作支援協議会（旧称；鉄骨製作管理技術者登録機構）の事業支援

- ・ 鉄骨製作に関する技術の向上等に資する調査研究の実施

以上

【理25-4-報7②】別紙

2025 年 7 月

大臣認定書の押印廃止と電磁的交付について（お知らせ）

株式会社全国鉄骨評価機構

鉄骨製作工場の大臣認定書について、本年 10 月（予定）より、押印が廃止され、電磁的交付（PDF 交付）を原則とすることになりました。

今後、鉄骨製作工場は、大臣認定申請時（評価機関が事務代行）に PDF 交付か紙交付のいずれかを選択することになります。なお、紙交付の紙は一般的な再生紙になります。

全鉄評では、本件の実施に伴い、評価書や関係書類の電子化、及びその送付や評価申請のオンライン化についても検討しております。

ご不明な点は、弊社にお問合せ下さい。

吸収合併、分離独立又は譲渡に伴い会社に変更された場合の大臣認定書の取扱い

株式会社全国鉄骨評価機構

性能評価業務約款細則第 14 条（認定工場の変更事項の届出等）第 1 項第 3 号に定める「吸収合併、分離独立又は譲渡」（以下、「譲渡等」という。）が行われる場合に、引き続き大臣認定書を使い続けることができるのか、問い合わせがありました。

このたび、国土交通省と協議を行ったところ、次の取扱いが出来ることとなりましたので、お知らせします。

- ① 譲渡等が行われることについて、指定性能評価機関である弊社への届出（事前の届出が可能）
- ② 譲渡等が行われた後においても品質管理体制及び製造設備等に変更がないことを指定性能評価機関である弊社が確認
- ③ 国土交通省通知文書「建築基準法における構造方法等の認定等における申請を要しない変更について（通知）」に基づき、弊社の確認結果を添えて、国土交通省に届出を行い、国土交通省において周知（HP 掲載）
- ④ ①～③の手続きを経た場合、大臣認定書に記載されている会社工場名を新会社工場名に読み替えて、引き続き大臣認定書を使用できる

つきましては、譲渡等を計画されている場合は、本取扱いについてご説明致しますので、お問合せ下さい。

【国土交通省 HP】

以下の HP に「構造方法等の認定等における申請を要しない変更について」が掲載されております。

https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk_000042.html